



茨城県

# 茨城県景気ウォッチャー調査

(平成17年3月調査分)

## 景気の現状判断DI

	平成16年12月	平成17年3月	前回調査比
茨城県	48.3	<b>46.9</b>	-1.4
県北地域	42.4	<b>42.8</b>	+0.4
県央地域	49.1	<b>47.3</b>	-1.8
鹿行地域	52.3	<b>45.5</b>	-6.8
県南地域	47.8	<b>50.4</b>	+2.6
県西地域	50.0	<b>48.6</b>	-1.4

## 景気の先行き判断DI

	平成16年12月	平成17年3月	前回調査比
茨城県	46.0	<b>50.1</b>	+4.1
県北地域	43.8	<b>45.8</b>	+2.0
県央地域	48.7	<b>50.5</b>	+1.8
鹿行地域	44.5	<b>54.9</b>	+10.4
県南地域	44.6	<b>52.2</b>	+7.6
県西地域	48.6	<b>47.3</b>	-1.3

平成17年4月

茨城県企画部統計課

問い合わせ先

統計課企画分析グループ TEL:029-301-2642

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/bukka/watch/index.htm>

## 目 次

調査の概要	2
調査結果の概要	4
1 全県の動向	4
（1）景気の現状判断D I	4
（2）景気の先行き判断D I	5
2 地域別の動向	6
（1）景気の現状判断D I	6
（2）景気の先行き判断D I	8
3 回答率	11
景気の判断理由	12
1 景気の現状判断理由	12
2 景気の先行き判断理由	18
3 その他の意見	23

## 5 利用上の注意

- (1) 景気動向指数(DI)は景気の方向性を判断するものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

### 景気動向指数(DI)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じて、景気動向指数(DI)を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

### 2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、  
 $(1 \times 15.0) + (0.75 \times 27.0) + (0.5 \times 25.0) + (0.25 \times 11.0) + (0 \times 22.0) = 50.5$ となる。

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5 \times 100) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気の上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気の下降局面にあるといえる。

# 調査結果の概要

## 1 全県の動向

### (1) 景気の現状判断DI

3か月前と比較した景気の現状判断DIは、「やや良くなっている」の回答構成比が減少し、「やや悪くなっている」の回答構成比が増加したため、1.4ポイント減の46.9となった。12月調査分を下回り、引き続き横這いを表す50を下回った。業種別にみても、企業動向関連DIが12月調査分を上回ったが、家計動向関連DI及び雇用関連DIが12月調査分を下回った。

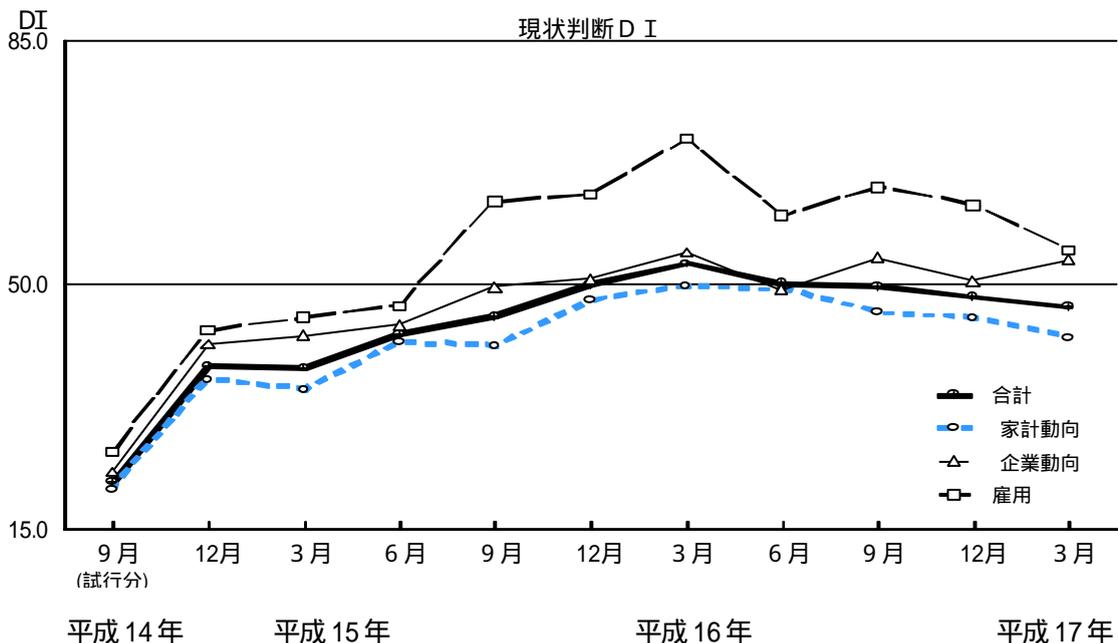
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成16年	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		53.1	50.3	49.9	48.3	46.9
家計動向関連	家計動向関連	49.9	49.3	46.0	45.3	42.5
	小売関連	49.6	49.6	48.4	45.1	45.4
	飲食関連	48.6	43.4	50.0	41.7	36.8
	サービス関連	48.5	48.7	42.6	46.2	40.1
	住宅関連	66.7	63.9	50.0	47.2	52.8
企業動向関連	企業動向関連	54.7	49.4	53.9	50.6	53.6
	農林水産業	37.5	34.4	50.0	42.9	46.4
	製造業	58.1	49.5	51.6	50.5	53.6
	非製造業	54.5	53.3	58.6	52.6	55.2
雇用関連		71.0	60.0	64.0	61.5	55.0

表1-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成16年 3月	5.0%	29.2%	44.5%	16.0%	5.3%
平成16年 6月	2.5%	26.9%	44.1%	22.2%	4.3%
平成16年 9月	0.7%	24.9%	52.3%	17.4%	4.6%
平成16年 12月	1.8%	25.3%	43.0%	24.2%	5.8%
平成17年 3月	3.2%	18.7%	45.6%	27.6%	4.9%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



## (2) 景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは、「良くなっている」「やや良くなっている」の回答構成比が増加したため、4.1ポイント増の50.1となった。12月調査分を上回り、横這いを表す50を上回った。業種別にみても、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが12月調査分を上回った。

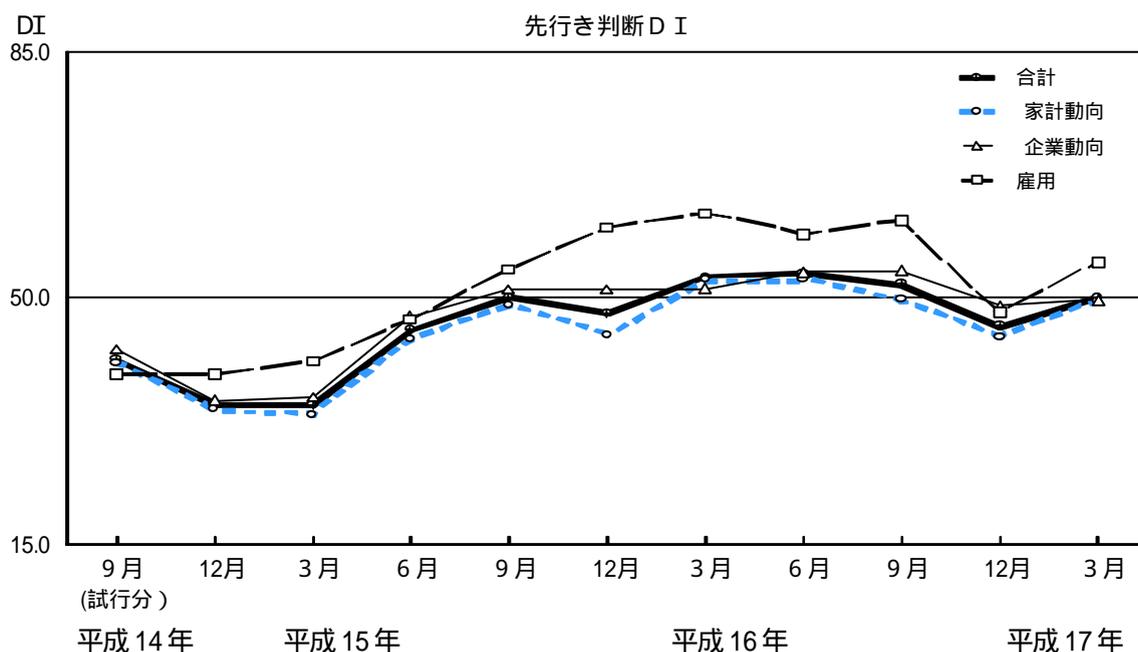
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成16年	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		53.0	53.5	52.0	46.0	50.1
家計動向関連	家計動向関連	52.5	52.6	49.7	44.4	49.6
	小売関連	51.8	54.0	51.6	46.2	48.2
	飲食関連	54.2	43.4	52.5	40.3	46.1
	サービス関連	50.6	53.5	48.5	43.6	51.6
	住宅関連	72.2	55.6	40.6	47.2	50.0
企業動向関連	企業動向関連	51.3	53.6	53.9	48.8	49.7
	農林水産業	56.3	50.0	50.0	53.6	53.6
	製造業	50.0	48.9	53.6	48.4	47.9
	非製造業	51.8	61.7	55.2	48.3	51.7
雇用関連		62.0	59.0	61.0	47.9	55.0

表1-4 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成16年 3月	2.5%	29.2%	50.2%	14.2%	3.9%
平成16年 6月	3.2%	24.0%	59.1%	10.8%	2.9%
平成16年 9月	0.7%	27.0%	55.5%	12.8%	3.9%
平成16年 12月	0.7%	14.4%	57.8%	22.4%	4.7%
平成17年 3月	2.5%	19.8%	56.5%	18.0%	3.2%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



## 2 地域別の動向

### (1) 景気の現状判断DI

#### 県北地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは42.8であり、12月調査分と比べて0.4ポイント上回ったものの、引き続き横這いを表す50を下回った。また、DI値は全県を通じて最も低かった。業種別にみても、企業動向関連DIが12月調査分を上回ったが、家計動向関連DI及び雇用関連DIが12月調査分を下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成16年	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		53.0	48.7	50.4	42.4	42.8
家計動向関連		49.3	47.8	45.1	38.6	36.5
企業動向関連		54.4	45.6	57.4	47.1	52.9
雇用関連		75.0	65.0	65.0	56.3	55.0

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成16年 3月	10.2%	18.6%	50.8%	13.6%	6.8%
平成16年 6月	1.8%	23.2%	50.0%	17.9%	7.1%
平成16年 9月	1.7%	22.4%	56.9%	13.8%	5.2%
平成16年 12月	0.0%	10.7%	53.6%	30.4%	5.4%
平成17年 3月	0.0%	10.2%	57.6%	25.4%	6.8%

#### 県央地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは47.3であり、12月調査分と比べて1.8ポイント下回り、引き続き横這いを表す50を下回った。業種別にみても、企業動向関連DIが12月調査分を上回ったが、家計動向関連DI及び雇用関連DIが12月調査分を下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成16年	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		53.6	52.2	47.7	49.1	47.3
家計動向関連		47.9	48.6	42.1	45.1	42.9
企業動向関連		61.7	56.3	53.3	55.0	56.7
雇用関連		70.0	65.0	70.0	60.0	50.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成16年 3月	1.8%	30.4%	51.8%	12.5%	3.5%
平成16年 6月	0.0%	32.1%	46.4%	19.6%	1.8%
平成16年 9月	1.8%	23.6%	45.5%	21.8%	7.3%
平成16年 12月	1.8%	25.0%	46.4%	21.4%	5.4%
平成17年 3月	5.5%	14.5%	47.3%	29.1%	3.6%

### 鹿行地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは45.5であり、12月調査分と比べて6.8ポイント下回り、横這いを表す50を下回った。業種別にみても、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが12月調査分を下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成16年	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		49.5	50.9	52.2	52.3	45.5
家計動向関連		46.5	50.0	46.5	45.8	40.3
企業動向関連		51.8	51.8	61.7	62.5	56.7
雇用関連		65.0	55.0	65.0	70.0	50.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成16年 3月	3.6%	25.5%	47.3%	12.7%	10.9%
平成16年 6月	1.9%	27.8%	46.3%	20.4%	3.7%
平成16年 9月	0.0%	35.7%	41.1%	19.6%	3.6%
平成16年12月	3.6%	34.5%	32.7%	25.5%	3.6%
平成17年 3月	3.6%	17.9%	42.9%	28.6%	7.1%

### 県南地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは50.4であり、12月調査分と比べて2.6ポイント上回り、全県を通じて唯一横這いを表す50を上回った。業種別にみても、企業動向関連DI及び雇用関連DIが12月調査分を上回ったが、家計動向関連DIが12月調査分を下回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成16年	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		55.4	53.9	50.0	47.8	50.4
家計動向関連		56.4	54.4	49.3	49.3	48.6
企業動向関連		45.3	50.0	50.0	44.1	50.0
雇用関連		80.0	65.0	55.0	50.0	65.0

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成16年 3月	5.4%	37.5%	33.9%	19.6%	3.6%
平成16年 6月	5.3%	33.3%	35.1%	24.6%	1.8%
平成16年 9月	0.0%	19.3%	63.2%	15.8%	1.8%
平成16年12月	0.0%	28.6%	41.1%	23.2%	7.1%
平成17年 3月	5.2%	27.6%	36.2%	25.9%	5.2%

### 県西地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは48.6であり、12月調査分と比べて1.4ポイント下回り、横這いを表す50を下回った。業種別にみても、企業動向関連DIが12月調査分を上回ったが、家計動向関連DI及び雇用関連DIが12月調査分を下回った。

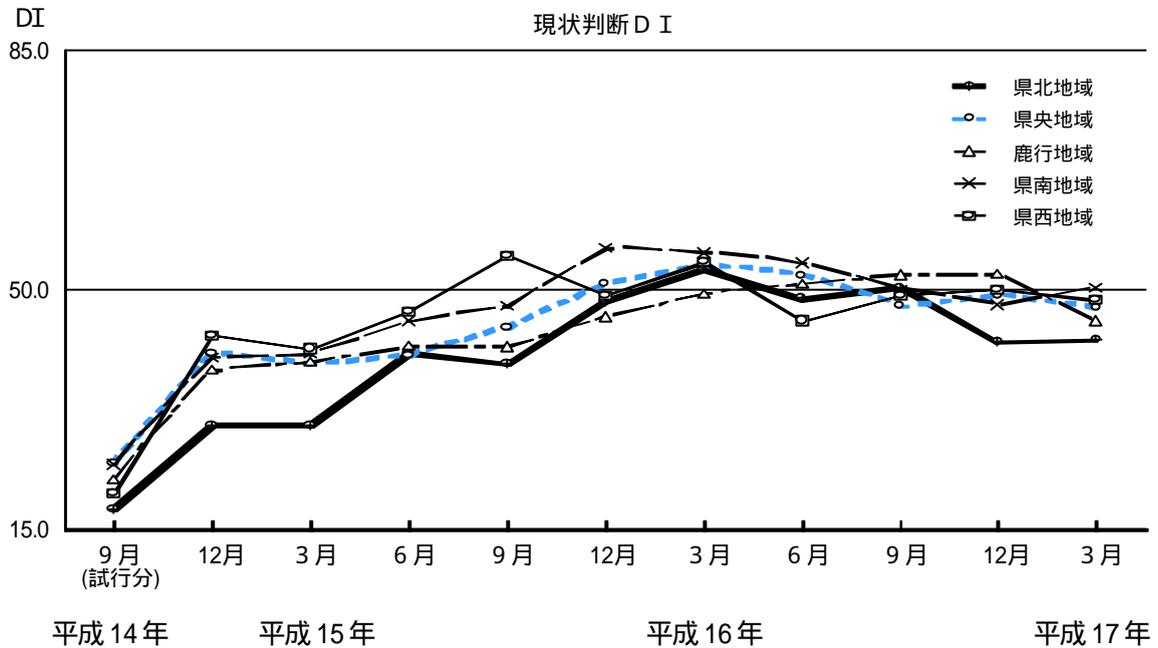
表2 - 9 景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成16年	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		54.1	45.5	49.1	50.0	48.6
家計動向関連		49.2	45.3	46.9	48.3	45.2
企業動向関連		60.3	44.7	48.6	47.4	52.6
雇用関連		65.0	50.0	65.0	70.0	55.0

表2 - 10 回答構成比

	良く なっている	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪く なっている
平成16年 3月	3.6%	34.5%	38.2%	21.8%	1.9%
平成16年 6月	3.6%	17.9%	42.9%	28.6%	7.1%
平成16年 9月	0.0%	23.6%	54.5%	16.4%	5.5%
平成16年 12月	3.7%	27.8%	40.7%	20.4%	7.4%
平成17年 3月	1.8%	23.6%	43.6%	29.1%	1.8%

図2 - 1 地域別現状判断DIの推移



(2) 景気の先行き判断DI

県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは45.8であり、12月調査分と比べて2.0ポイント上回ったものの、引き続き横直しを表す50を下回った。また、DI値は全県を通じて最も低かった。業種別にみても、家計動向関連DIが12月調査分を上回ったが、企業動向関連DI及び雇用関連DIが12月調査分を下回った。

表2 - 11 景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成16年	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		52.5	50.0	53.4	43.8	45.8
家計動向関連		53.4	50.0	52.1	40.7	45.9
企業動向関連		48.5	48.5	54.4	47.1	44.1
雇用関連		60.0	55.0	60.0	56.3	50.0

表2 - 12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成16年 3月	5.1%	22.0%	52.5%	18.6%	1.7%
平成16年 6月	0.0%	21.4%	60.7%	14.3%	3.6%
平成16年 9月	0.0%	25.9%	63.8%	8.6%	1.7%
平成16年12月	0.0%	7.1%	66.1%	21.4%	5.4%
平成17年 3月	1.7%	10.2%	59.3%	27.1%	1.7%

#### 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは50.5であり、12月調査分と比べて1.8ポイント上回り、横這いを表す50を上回った。業種別にみても、家計動向関連DI及び雇用関連DIが12月調査分を上回ったが、企業動向関連DIが12月調査分を下回った。

表2 - 13 景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成16年 3月	平成16年 6月	平成16年 9月	平成16年 12月	平成17年 3月
合 計		51.8	55.8	51.4	48.7	50.5
	家計動向関連	48.6	53.6	48.6	46.5	52.1
	企業動向関連	56.7	59.4	55.0	53.3	45.0
	雇用関連	60.0	60.0	60.0	50.0	55.0

表2 - 14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成16年 3月	1.8%	23.2%	58.9%	12.5%	3.6%
平成16年 6月	3.6%	28.6%	57.1%	8.9%	1.8%
平成16年 9月	0.0%	25.5%	56.4%	16.4%	1.8%
平成16年12月	3.6%	12.5%	62.5%	17.9%	3.6%
平成17年 3月	1.8%	14.5%	72.7%	5.5%	5.5%

#### 鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断DIは54.9であり、12月調査分と比べて10.4ポイント上回り、横這いを表す50を上回った。また、DI値は全県を通じて最も高かった。業種別にみても、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが12月調査分を上回った。

表2 - 15 景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成16年 3月	平成16年 6月	平成16年 9月	平成16年 12月	平成17年 3月
合 計		55.5	50.5	51.8	44.5	54.9
	家計動向関連	54.9	49.3	47.9	41.0	51.4
	企業動向関連	51.8	51.8	58.3	53.6	61.7
	雇用関連	70.0	55.0	60.0	45.0	60.0

表2 - 16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成16年 3月	3.6%	38.2%	41.8%	9.1%	7.3%
平成16年 6月	1.9%	22.2%	55.6%	16.7%	3.7%
平成16年 9月	0.0%	33.9%	44.6%	16.1%	5.4%
平成16年12月	0.0%	14.5%	56.4%	21.8%	7.3%
平成17年 3月	5.4%	26.8%	51.8%	14.3%	1.8%

県南地域

3か月先の景気の先行き判断DIは52.2であり、12月調査分と比べて7.6ポイント上回り、横這いを表す50を上回った。業種別にみても、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが12月調査分を上回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成16年	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		50.4	56.1	51.8	44.6	52.2
家計動向関連		50.7	58.1	50.0	47.1	51.4
企業動向関連		51.6	50.0	52.8	39.7	52.8
雇用関連		45.0	65.0	60.0	45.0	55.0

表2-18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成16年 3月	1.8%	23.2%	53.6%	17.9%	3.5%
平成16年 6月	7.0%	24.6%	56.1%	10.5%	1.8%
平成16年 9月	1.8%	26.3%	54.4%	12.3%	5.3%
平成16年 12月	0.0%	17.9%	46.4%	32.1%	3.6%
平成17年 3月	1.7%	29.3%	46.6%	20.7%	1.7%

県西地域

3か月先の景気の先行き判断DIは47.3であり、12月調査分と比べて1.3ポイント下回り、引き続き横這いを表す50を下回った。業種別にみても、雇用関連DIが12月調査分を上回ったが、家計動向関連DI及び企業動向関連DIが12月調査分を下回った。

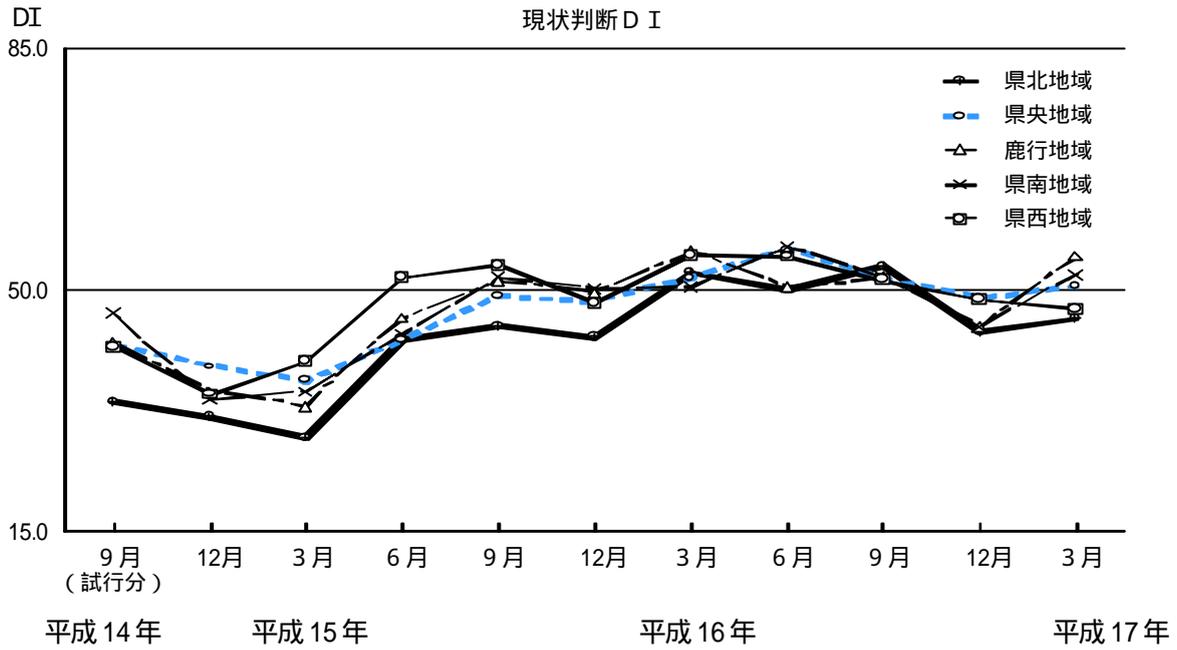
表2-19 景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成16年	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		55.0	54.9	51.4	48.6	47.3
家計動向関連		55.3	52.3	50.0	47.5	46.8
企業動向関連		48.5	57.9	50.0	51.3	46.1
雇用関連		75.0	60.0	65.0	45.0	55.0

表2-20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成16年 3月	0.0%	40.0%	43.6%	12.7%	3.7%
平成16年 6月	3.6%	23.2%	66.1%	3.6%	3.6%
平成16年 9月	1.8%	23.6%	58.2%	10.9%	5.5%
平成16年 12月	0.0%	20.4%	57.4%	18.5%	3.7%
平成17年 3月	1.8%	18.2%	52.7%	21.8%	5.5%

図2 - 2 地域別先行き判断DIの推移



### 3 回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	283 人	94.3%
県北地域	60 人	59 人	98.3%
県央地域	60 人	55 人	91.7%
鹿行地域	60 人	56 人	93.3%
県南地域	60 人	58 人	96.7%
県西地域	60 人	55 人	91.7%

# 景気の判断理由

## 1 景気の現状判断理由

### (1) 県北地域

( - : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。 )

回答区分	分野	業種・職種	理由
良くなっている	-	-	-
やや良くなっている	企業関連	水産業関係者	冷水の影響によりオキアミが大量に水揚げされ、漁業者及び冷凍業者の動きが活発になっている。
		製造業（電気機械器具）	設備投資関連製品の売上が増加している。
		製造業（電気機械器具）	一時的な仕事ではあるが、新製品が出たためやや良くなっている。また、ここにきて勝ち組と負け組が少しづつ見えてきた業界がある。
		製造業（輸送用機械器具）	北米での自動車販売が好調のため、物量が増加傾向にある。ただし、カーメーカーの値下要請が一段と高まる一方、原材料の値上げ追加もあり収益は悪化傾向にある。
	雇用関連	学校就業関係者	高校生の企業への就職内定率が上昇している。また、企業からの新入社員教育が増加している。
変わらない	家計関連	人材派遣業	既存の客だけでなく新規の客からも人材の提供を依頼されるようになってきた。
		商店街代表者	どうしても必要なもの以外は買い控えているようである。
		スーパー	ここ数か月の売上は前年とあまり変わらない。また、客は買う物によって店を選んでいる。加えて必要な物しか買わなくなっている。
		コンビニエンスストア	依然として半数以上の店舗で売上が前年を割り込んでいる。
		コンビニエンスストア	人の動き及び商品の動きが改善されてこない。
		スーパー	客の様子に特に変化は見られない。買上点数や金額等にも変化はない。
		自動車販売店	新車市場が依然として前年比90%程度で推移している。
		農産物直売所	消費者の購入状況に変化が無い。
		小売業（酒類）	不況が長引いており業況に改善が見られない。また、ビールの価格についてますます大型店との格差が目立ってきている。
		卸売業	春物～夏物商品の動きが前年と比べて早まっている。
		居酒屋	客数、客単価ともに横這い傾向が続いており、売上が伸長していない。
		居酒屋	来店客数が変わらない。
		観光型ホテル	3か月前と比べ売上自体は減少しているが、前年同時期と同程度である。
		観光型ホテル	年末年始は好調の感もあったが、以後は良好とまではいかない。
		旅行代理店	大学卒業生の動きは良いが、一般客、団体客、グループ客については相変わらず動きが悪い。企画商品の販売状況を見ても、格安、日帰りの商品が売れ筋となっている。
		タクシー運転手	仕事の回数に変化が無い。買物帰りの客を見ても、買物の量が変わっていない。
		ゴルフ場	依然として平日の来場者が少なく苦戦している。レジャーの多様化のためか特に若年層の伸びが低い。最近では高齢者の利用も少なくなっている。この先の生活を考えて余暇の出費を控えているのだから。
		ゲームセンター	路面店、ショッピングセンター内店舗とも来店客数の減少傾向が続いている。景品にも人気が出ているものが無くなり、売上の減少が見受けられる。
		理・美容店	それなりに仕事はある。
		住宅販売会社	契約数に際立った変化が見られない。
	企業関連	製造業（食品）	販売価格の下落が止まらず採算割れの状況が続いている。経費の圧縮も持続的に実施しているが、販売価格の下落には追いつかず採算改善が進んでいない。
		製造業（一般機械器具）	仕事量に変化が見られない。
		製造業（一般機械器具）	普段の生活・仕事で特に変化は感じられない。
		製造業（電気機械器具）	期末を迎え業種によっては多少の波があるが、製造業全体としてはあまり変化が無いように思われる。
		製造業（電気機械器具）	売上高、作業量とも3か月前とほぼ変わらない。
		製造業（電気機械器具）	生産台数や売上等が同レベルで推移している。
		非製造業（建設業）	人的状況には不足感があるが、厳しい状況が改善したとは思われない。
		非製造業（建設業）	12～1月は公共事業も動き状況も良いようだが、民間・個人については動きが良くない。工事量も多少多いと感じられるが、内容が良くない。
		非製造業（金融業）	各種企業の業績はそれなりの数字が計上されているものの、商店街の売上は横這い状態であり全体的に変化らしきものは認められない。
		非製造業（不動産業）	各社とも分譲マンション事業は好調だが、分譲住宅事業は市街地であっても相変わらず客足が鈍く、低迷状態が続いている。
		非製造業（情報処理サービス）	同業他社からもこの数か月で受注・売上が伸びた話は聞こえてこない。
		雇用関連	求人開拓員
公共職業安定所	製造業からの求人が減少傾向にあるものの、建設業、卸小売業からの求人が増加している。また、求人条件にもコスト削減の影響があり、就職件数が伸びていない。		
スーパー	衣料品が特に落ち込んでいる。食料品は横這いである。		
やや悪くなっている	家計関連	衣料品専門店	来店しても何も買わずに帰っていく客が以前より増えたように思われる。
		ガソリンスタンド	業界内で廃業が増加している。
		小売業（土産物）	天候が悪く寒い期間が長く続いたため売上が伸び悩んだ。
		小売業（靴製品）	現役の親世代の買物がより慎重になった。年配者と若者については変わらない。
		レストラン	12月及び1月は例年どおり客が入ったが、2月は特に悪かった。
		観光型ホテル	必要なものに対しては消費するが、それ以外のものについては財布のヒモが固い。無駄の無い消費生活になっている。
		タクシー運転手	工場を閉鎖する企業がある。

回答区分	分野	業種・職種	理由
やや悪くなっている	家計関連	タクシー運転手	12月は忘年会などがあり少しは仕事もあったが、3月に入り1日の営業回数及び土日祝日の仕事が減少している。駅での人の乗り降りも少なく、夜の居酒屋の客も少なくなっている。
		ドライブイン	天候不良（特に降雪後）のため、昨年と比べてまったく車が動かなかった。
		レジャー施設	定休日を無くして営業日数を増やしても、前年比で入場者数が減少してしまった。
	企業関連	理・美容店	3か月前は年末や新年の準備で若干客が増加していたが、また従前に戻った。
		林業関係者	素材の価格が弱含み気味である。
	雇用関連	製造業（電気機械器具）	客の注文状況が悪くなってきている。
悪くなっている	家計関連	求人広告	雇用に関して、やや少なくなっているようである。
		スナック	年々売上が減少している。こんな不景気は初めてである。
		レジャー施設	天候不順等により売上高が減少している。
	クリーニング店	暖冬の影響でオーバーコートなど冬物の衣類を身に付けなくなり、取扱商品数も大幅に減少している。	

(2) 県央地域

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答区分	分野	業種・職種	理由	
良くなっている	企業関連	製造業（出版・印刷業）	官公需の割合が比較的大きいため、年度末が近づくと例年良くなる。ただし、単価の面では低下している。	
		製造業（一般機械器具）	引合件数、注残金額等を見る限り、3月決算の財務状況に合わせた内容のものが目立っており、いわゆる駆け込み受注であると思われる。	
		非製造業（建設業）	建設投資は非常に大きく動いているように感じられる。依然として福祉関連・マンション・物販施設が多い。民間の設備投資も大きく動いている。	
やや良くなっている	家計関連	スーパー	客数が増加傾向にある。それに伴い、買上点数・売上とも増加している。	
		専門スーパー	昼間の気温が割と高いため、来店客数が増加している。	
		専門スーパー	特に農業関係及び建築関係の客の商品購入が春先に向け徐々に動いてきている。また、広域にチラシを配布したためもあるが、広範囲から客が来店しており、単価も下げ止まったように感じられる。	
		理・美容店	時期的なこともあるかもしれないが、広告等により客が増加したように思われる。	
	企業関連	建築設計事務所	県外の顧客の設備投資が1月頃から多少活発になってきている。ただし、県内顧客の投資は相変わらず鈍い。	
		雇用関連	製造業（土石製品）	年度末ということもあり、やや受注が増加している。
変わらない	家計関連	求人開拓員	全般的に求人募集が増加している。特に製造業の募集が増加している。	
		求人広告	景気を反映しているかはわからないが、求人数が増加している。	
変わらない	家計関連	商店街代表者	客の動きを見る限り、生活に必要なものや飲食等はまだ良いようであるが、その他のものについては動いていない。	
		百貨店、総合スーパー	来店者数、買上単価等を見ても前年対比で大きな変動はなく、特別消費に対して積極的になっているとは思われない。	
		百貨店、総合スーパー	「新しいモノ」への反応はどの世代も同様に敏感である。「今年らしさ」「自分らしさ」といったパーソナルな表現力のあるブランドは売行きが好調である一方、「無難な」「誰でも似合う」という間口の広いブランドは落ち込んでいる。	
		家電販売店	気候の影響はあるが、暖房商品が好調だった反面映像商品はやや落ち着いた感があり、需要増には至らなかった。	
		自動車販売店	車の需要期を迎え忙しいが、下取車の代替年数が長くなっているように思われる。	
		スーパー	チラシ価格に応じて買い回りをしている客が多い。	
		観光型ホテル	借楽園周遊の客は前年比で微増であるが、降雪で若干のキャンセルがあった。全体として稼働率は横這いである。	
		旅行代理店	旅行に関しては目立った動きは感じられず、良くなってきているという実感は無い。	
		タクシー運転手	昼夜とも個人、企業及び飲食店からの依頼の電話にそれほど変化は無い。	
		タクシー運転手	景気は上向きとの話が聞かれるが、あくまで大手企業関連の話であり、中小企業の厳しさは変わらない。この先ますます企業間の格差が開くように思われる。	
		ドライブイン	観梅シーズンで団体の来客数は多かったが、一般客が減少した。週末の天候不順も要因の一つだと思われる。	
		観光名所	厳しい寒さや週末の雪など相変わらず天候の影響を受けている。ここ最近では暖かさも手伝って徐々に人の動きが良くなってきており、売上にも若干の変化が見られるが、前年実績には届いていない。	
		レジャー施設	利用者数に変化が無く、景気の話も出ない。	
		レジャー施設	3か月前と同様に年間計画を超える客が入場しており、まずまずの成績である。	
		理・美容店	サービス技術を増やしているものの、売上につながらない。	
		住宅販売会社	特に目立った変化は無い。建築主の増減も無い。	
		企業関連	製造業（食品）	梅まつりが始まったが、出足が例年よりも悪い。しかしながら、後半持ち直してくれれば例年並になると思われる。
			製造業（出版・印刷業）	年度末ということもあって引合い・見積り件数は増加しているが、なかなか受注に結びつかず、価格競争に拍車をかけている。
			非製造業（輸送業）	年度末ということもあり小口の引合いは増加しているが、大口単位となると活発な動きがない。
	非製造業（金融業）		運転資金の需要はあるものの、設備資金への相談は少ない。	
非製造業（広告代理業）	赤塚駅南口再開発や、内原イオンモールの建設、つくばクレオタウンのショッピングモールオープンなど、消費行動を活発化させる要素があり、広告の引合いがあるが、地元の業者からとは限らず、厳しい見積り対応を求められるケースが多い。			

回答区分	分野	業種・職種	理由
変わらない やや悪く なっている	企業関連	非製造業（情報処理サービス）	具体的な商談の引合いが活性化していない。
		家計関連	商店街代表者
	スーパー		売上客数とともに1割ほど減少しているが、天候（雪が週末に多い）ばかりの影響とは思われない。
	農産物直売所		客単価が低下している。また、国際情勢（特に中国の影響）や原油価格の高騰により、原材料費や物流費が上昇している。
	ファミリーレストラン		忘年会や新年会の時期と比べると、止むを得ない。
	割烹料理店		催事はあるものの、件数的には減少している。
	都市型ホテル		例年に比べ予約状況が悪い。同じような会場が激増しているため、客の取合いも激化している。ただし、客の様子を見ると職種によっては良くなりつつあるところもあるようだ。
	都市型ホテル		合併に伴うリストラが増加しているようである。市内の飲食店（特にラーメン店、焼肉店等）でも閉店が相次いでいる。
	タクシー運転手		世の中が便利になり、人の移動がますます少なくなっている。
	タクシー運転手		ショッピングセンター内店舗では相変わらず客数・客単価とも前年実績を割っている。路面店では競合店舗も含め客数が少なく、業界自体も成熟期から衰退期に突入しようとしている。また、マシン生産メーカーも設備投資を控え気味で、大きく新しいマーケットが立ち上がってこない。我慢比べの時期で体力のないオペレーターは閉店に追い込まれている。
	ゲームセンター		原油を始め原料高が経営に悪影響をもたらしつつある。
	企業関連	製造業（食品）	受注量が減少している。
		製造業（金属製品）	2月までは大変忙しかったが、3月に入りやや悪くなってきた。
	雇用関連	製造業（一般機械器具）	受注残が減少している。
人材派遣業		管内2月の事業所業況調査が前回より3.4ポイント悪化した。また、2月の求人数は対前年同月比で増加したものの、12～2月の3か月ペースでは減少している。	
悪くなっている	家計関連	公共職業安定所	客単価が低迷している。収入の減少に伴い可処分所得が低下している。
		スーパー	天候不順（特に降雪）の影響等により来場者数が前年同期比で大幅に落ち込んでいる。
ゴルフ場			

(3) 鹿行地域

( - : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。 )

回答区分	分野	業種・職種	理由	
良くなっている	企業関連	製造業（金属製品）	現在工場がフル稼働の状態である。	
		製造業（電気機械器具）	春闘一時金回答額が2年連続でアップし、過去最高となった。	
やや良くなっている	家計関連	スナック	地元大企業関連の景気が外需等により一段と良くなったようである。	
		サービス業	四半期単位で比較すると、受注量が増加している。	
		ドライブイン	米やイチゴといった単価の高いものがよく売れている。	
	企業関連	製造業（印刷業）	求人関連のチラシの注文が増加している。	
		製造業（化学工業）	利益が予算を上回っており、今期中に不要な資産を廃棄しようとの案も出ている。	
非製造業（輸送業）	通年契約の荷主ではあるが、4月頃入庫すべき季節物を1月後半から入れだしている。早めに売上にしたいからなのかもしれないが、生産量が日々落ちていないことも事実である。			
雇用関連	民間職業紹介業	時期的なことも影響しているように思われるが、求人依頼が多少増加傾向にある。		
	公共職業安定所	製造業を中心に求人が活発になっている。一方で、求職者は減少している。		
変わらない	家計関連	小売業（金物店）	一般客、工事店関係の客とも売上げが低調のまま推移している。	
		商店街代表者	農産物価格の低迷により余裕のある利益が得られない。	
		商店街代表者	横這いの中若干上向いているものの、全般的な底上げにはつながらっていない。また、外来量販店が善戦しており、既存小売店との格差が急速に広がるなど、二極化が進んでいる。	
		コンビニエンスストア	高くても良いものが売れるようになってきているが、売上については横這いの状況である。	
		自動車販売店	決算期ということもあって、それなりに販売は動いている。以前と同様に小型車が良いようであるが、景気は変わっていないと思われる。	
		小売業（薬品店）	中小企業に勤務している客の財布のヒモが相変わらず固く、売上げが減少している。	
		書店	客から大型店に行けば1か所で買物ができるので商店街に寄る機会が減ったとの声が聞かれる。	
		観光型ホテル	利用状況、売上げがさほど伸びていない。	
		タクシー運転手	依然として買物客やショッピングセンターに来る客が減少している。	
		住宅販売会社	集客、契約数ともに良くもなければ悪くもない。	
		住宅販売会社	依然として住宅購入意欲が高まらない。将来に対する不安がその理由だと思われる。	
		企業関連	農業関係者	冬季は準備期間のため出荷物が無い。
			製造業（窯業・土石製品）	大手鉄鋼業の平成16年度末の経常利益は最高額を記録する見込であるとともに、春闘においても金属労協の一時金回答額が軒並み前年を上回ったが、中小企業にとっては価格改善及び生産高・売上高の伸び悩みは拭えず、まだまだ厳しい環境から脱却できていない。
			製造業（食品）	企業の業績が回復しているが、なかなか一般には反映していない。
製造業（飼料製造）	悪くなっていないだけまだよく、低位で安定している。史上最高益の更新と報道されているのはほんの一握りの大企業だけである。			

回答区分	分野	業種・職種	理由	
変わらない	企業関連	製造業（化学工業）	原料価格の高騰は続いているが、品薄感から製品の値上げが受け入れられており、利益面では変わらない。	
		非製造業（金融業）	必要以外の消費は極力しない傾向が続いているが、大型家電等特殊なものについては積極的な購入が見られる。	
		非製造業（住宅設備施工業）	特に残業するほどの仕事は無い。また、客数も増加していない。	
		非製造業（不動産業）	景気が上向くかと思われたが、出入りの業者の様子では仕事・客数とも少なく、今までと変わらないようである。	
	雇用関連	人材派遣業	世の中全体において景気の躍り場が長引いている状況の下、当地域においても企業の縮小、統合等が見受けられる。倒産については耳にしないうもの、中小企業においては倒産予備軍的な状況にあると思われる。	
		求人開拓員	求人数は増加しているが、労働条件が良くなっておらず正社員の採用は依然として少ない。また、仕事量は若干増加しているが、収益増に結びつかないとの話が聞かれる。	
やや悪くなっている	家計関連	小売業（酒類）	主力商品である酒類の販売が年明けの値上げ騒動もありあまり好調とは言えない。ビール、発泡酒は現状では値上げしているが、特売ではなく通常価格のまま販売しているため以前ほど売れていない。また、1～2月は小売業にとって売上が伸びにくい月でもあり、全体的に購入金額が他の月より少なめとなっている。	
		スーパー	特売品のみに関客が集中し、レギュラー品の販売点数が伸びない。また、近隣にオープンしたディスカウント型の販売店が集客していることから、価格志向が強まっているのではないと思われる。	
		家電販売店	昨年の暮れには買い替え等をする客がいたが、年が明けてからは電話等での問合せもなく商品の売行きも悪くなっている。	
		専門スーパー	客は必要最低限の商品しか購入しない。財布のヒモがますます固くなっている。	
		観光型ホテル	予約状況、売上見込額から判断すると、変わらないと思われる。	
		小売業（菓子販売店）	客単価が低下している。売り出しをしても値引き商品しか売れない。	
		洋食食堂	例年3月は売上増が見込まれるが、上旬に限って言えば前年を下回っている。ライバル店の影響もあるだろうが、「原因は常に自分たちの店にある」と反省し、足りないものを探している。	
		割烹料理店	正月明けから客単価が低下しており、予約での利用も予想以上に少ない。	
		ゴルフ場	天候不順の影響が出ている。ゴルフ場は天気に左右されやすい。	
		理・美容店	年末や年始に比べると、必ずしも髪形を整える必要が無い。特に年配の客にこの傾向が見られる。	
		クリーニング店	寒さのため夜の客が減少している。	
		室内装飾業	依然として増改築及び新築の物件が減少している。	
		企業関連	非製造業（保険業）	給料が減少している。
悪くなっている	家計関連	日本料理店	客数、客単価ともに減少している。	
		企業関連	製造業（食品）	暮のような活気が無い。
		雇用関連	学校就業関係者	倒産した企業がある。

(4) 県南地域

( - : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。 )

回答区分	分野	業種・職種	理由
良くなっている	家計関連	商店街代表者	売上が上昇している。
		家電販売店	新入学、新社会人等のシングル需要対象商品の売上がかなり好調に伸びている。
		洋食食堂	接待や個人の記念日等の予約が多く入ってきている。
やや良くなっている	家計関連	衣料品・身の回り品販売店	学生の入学を控え制服の注文がある。衣料の他に彼岸の引出物等ギフトの販売が好調である。
		小売業（各種食料品）	客数が増加しており、客単価も上昇している。
		洋食食堂	異動の時期ということで、ランチタイムだけでなく夜の予約状況も良くなっている。ただし、相変わらずアルコールの売上が低迷している。
		都市型ホテル	つくばエクスプレスの開通前にショッピングセンターがオープンとなり、人の動きがかなりある。それに伴い宿泊も多少増加してきている。
		ゴルフ場	季節も良くなり、来場者が増加している。
	企業関連	製造業（食品）	季節要因もあるが、売上高が増加している。
		製造業（一般印刷業）	年度末のため、やや良くなっている。
		非製造業（建設業）	年度末の関係もあると思われるが、小型工事(500万円以下)の受注が増加しており、現社員がフル回転している。
		非製造業（建設業）	年度末ということもあり、1月から受注が増加しており、順調である。近隣の工業用地内の企業が忙しいことによる相乗効果と思われる。
		非製造業（建築設備業）	受注状況が良い。
		非製造業（輸送業）	在庫が少し増加傾向にある。運送関係は減少しているものの、全体的に見ると出入庫の扱い数量は増加している。
	雇用関連	雇用相談員	製造業関係では求人（増員）する企業が出てきており回復の兆しが見える。また、土木関係では年度末による小口工事の受注増、運送関係では若干の荷働の増加が見られ、輸出関連も順調に推移している。
		求人広告	求人広告掲載が増加している。
学校就業関係者		街中の人々の表情に明るさが感じられる。	
家計関連		スーパー	安いもの、チラシのものしか売れない。また、安いものでも大量買いが見られない。
変わらない	家計関連	スーパー	依然として卵や日替品（特に安い売価のもの）を集中して買う傾向にあり、客単価が上昇していない。

回答区分	分野	業種・職種	理由
変わらない	家計関連	コンビニエンスストア	気温の変化が激しく週末の天候不順などで売上が横這いあるいは減少している。来店客数も減少している。
		自動車販売店	車市場は全体に落ち込んでいるが、当社は少し伸びている。
		農産物直売所	前年と変わらず客は必要な物だけを購入していく。また、安価だからといって買っていく客が以前より少なくなったように思われる。
		ガソリンスタンド	悪い状況に変わりがない。
		都市型ホテル	宴会、宿泊等について例年並の売上はクリアできそうだが、増加となると難しい。
		タクシー運転手	1か月の売上が40万円前後で推移しており少しも上がらない。
		タクシー運転手	1日の営業回数が増加しない。
		タクシー運転手	乗車回数及び電話の本数にあまり変化が無い。
		レジャー施設	普段の仕事や客の様子に変わりはない。営業に回ってもなるべく金を使わないところを客は選ぶ。ただし、客単価は徐々に上がってきている。
		理・美容店	例年と同程度である。
		住宅販売会社	展示場への来場件数にそれほど変化が無い。
		建築設計事務所	仕事量が変わらない。
	企業関連	製造業（コンクリート製造業）	年度末であるが、さほど変化はない。
		製造業（一般機械器具）	仕事量の増大は見られるものの、短期的なものが多い。
		非製造業（不動産業）	売買部門はマイナス、賃貸部門はプラス、建設部門は横這いであり、平均すると変わらない。
雇用関連	非製造業（金融業）	不動産業及び建設業に関しては良化・活発化傾向が見られない。ただし、つくば地区に目を向けた不動産業者は、つくばエクスプレスの影響で活発化傾向にある。	
	人材派遣業	顧客からの受注、要請は引き続き旺盛ではあるものの、人材不足のため結果的に売上も横這い状態となっている。	
やや悪くなっている	家計関連	公共職業安定所	引き続き求人のために来所する事業所が多い。
		スーパー	競合店のチラシが最近強くなった影響で、客足の伸びが止まってきている。
		コンビニエンスストア	気温が昨年と比較して低いが、それに比例して消費者の購買意欲も低下している。
		農産物直売所	野菜類の価格が安定したこと及び天候不順により年明けから前年の売上を維持することが難しい状況であり、客単価も減少している。
		専門スーパー	人が移動する時期のため生活用品の需要が高くなるはずなのだが、あまり感じられない。
		寿司店	客から新卒者の就職が厳しい、景気が悪い等の話が聞かれる。
		旅行代理店	時期的に止むを得ないが、2～3月は来店、申込ともに落ち着いている。特に海外旅行が弱い。
		タクシー運転手	夜間の電話による呼び出しが減少している。
		タクシー運転手	タクシー料金の支払いに千円札と五百円硬貨が使われることが多い。
		ゴルフ場	接待利用の客数の減少及び積雪等の影響により、3月期は厳しい業況となった。
		ゲームセンター	客数や客単価が増加していない。オーナーの売上動向でも昨年実績を既存店ベースでクリアーできている店舗が少ない。また、販促やイベントで集客を上げてコストの分の収益がカバーできていない。
		企業関連	農業関係者
	製造業（食品）		3か月前は年末で売上が増加したが、2～3月は毎年売上が減少する傾向にある。また、つくばエクスプレスの開通を前に各所で整備が進められているが、地元住民にはその影響が感じられず、デパート等でも売場の改造に費用がかかっているため今はまだ売上につながっていない。
	製造業（食品）		売上が減少している。
	悪くなっている	家計関連	製造業（食品）
非製造業（建設業）			大規模・高額の仕事がなく、修理のような仕事ばかりである。
企業関連		スーパー	商圏人口は変わらないのに、スーパーマーケットの新規出店やディスカウント型への業態変更等の影響で客数が大幅に減少している。また、客の買物も特価品に偏っており、競合で原価を無視した販売がされているため、客単価が大きく下落している。
		和食食堂	平日、特にディナータイムの客数が減少している。
		製造業（金属製品）	中国など海外へ仕事が流出している。

(5) 県西地域

( - : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。 )

回答区分	分野	業種・職種	理由
良くなっている	家計関連	レジャー施設	当施設がテレビで紹介され温泉やレストラン、直売所の利用者が増加した。また、宿泊予約や問合せ等も多くなり、うれしい悲鳴である。やはりテレビ等マスコミの影響は大きいと感じた。
やや良くなっている	家計関連	スーパー	営業戦略は大きく変わっていないが、売上と客数が前年を上回っている。1人当たりの買上点数及び客単価も伸びている。
		農産物直売所	日々の客単価が増加している。また、嗜好的商品の動きが順調である。
		洋食食堂	暖かくなり外出する機会が増えたようである。また、週末以外にも予約が入るようになり、客単価が高いことも時々ある。
		旅行代理店	12月は予想通り客の動きが無かったが、3月になって客の動きが良くなったように感じられる。
		理・美容店	客から景気の悪い話が聞かれなくなり、どことなく良いほうに傾いてきたように感じられる。

回答区分	分野	業種・職種	理由	
やや良くなっている	企業関連	製造業（石材業）	寒い時期より暖かい時期の方が仕事もやりやすく活動的になるため、消費活動や生産活動が活発になる。	
		製造業（化学工業）	新規モデルやバージョンアップの引合が顧客から来ている。	
		製造業（一般機械器具）	昨年の暮れ頃から取引の始まった顧客から毎月仕事が出てきている。また、納期や単価は厳しいが、既存顧客からの仕事も増加している。	
		製造業（電気機械器具）	時期的なこともあるかと思われるが、注文が増加している。	
		非製造業（不動産業）	賃貸の金銭的な条件が多少上がってきている。	
		非製造業（広告業）	取引先のハウスメーカーによると、高額所得者や定年間近の公務員の購買意欲が盛んなようである。また、リストラ効果によって利益が出ている企業が元気である。市町村合併による需要増も多少あると思われる。	
変わらない	雇用関連	人材派遣業	建築関係の仕事が増加している。	
		学校就業関係者	求人が現在でも数件来ている。	
変わらない	家計関連	商店街代表者	農家の景気があまり良くないようである。	
		家電販売店	売上の前年対比が3か月前とほとんど変わらない。	
		自動車販売店	決算、需要期であるが動きが鈍い。	
		ガソリンスタンド	11～12月は暖冬であったが、12月末の降雪後は寒い冬となり、冬物商品についてはまあまあの売行きであった。	
		和食食堂	外食産業全体で落ち込んでいるが、当社も厳しい状況である。1月まではやや上向きだったが2月は前年比を達成できなかった。	
		ドライブイン	ここ数か月売上がほぼ前年並みで推移している。	
		ドライブイン	団体客は多いが、買物をする人が少ない。	
		ゲームセンター	ショッピングセンター内店舗の集客に力強さが無く、売上げが伸びない。路面店は一層厳しい売上げが続いている。	
		クリーニング店	固定客も出す品数が少なくなり、またフリー客もほとんどいないため、売上が減少している。	
		建築設計事務所	各種の仕事がなく、仕事のバランスが悪い。	
		企業関連	農業関係者	農産物の販売価格が安値で推移している。
			農業関係者	野菜価格の伸びは平年並みであるが、消費は前年を下回る傾向にある。
			製造業（食品）	例年1～2月は売上が少ない。彼岸商品の売上げに期待したい。
			製造業（金属製品）	受注量があまり増えてこない。値段等も安価である。
非製造業（建設業）	年度末によるものかと思われるが、公共事業の受注があり忙しい。しかしながら、民間の仕事がその分少ない。			
非製造業（金融業）	地域の業況に変化は見られない。			
やや悪くなっている	雇用関連	求人開拓員	求人数がやや増加しているが、世代交代のためによるものである。	
		商店街代表者	街中に外国人労働者の姿が以前ほど見られない。仕事が無くなって他の町に移ったようである。	
悪くなっている	家計関連	スーパー	昨年の12月頃から1人当たりの買上点数が落ちてきている。客は余分な買物を控えているように思われる。	
		専門スーパー	気温が低く、本来売れるはずの春物商品が売れない。	
		寿司店	歓送迎会の予約がまだ少ない。	
		都市型ホテル	3か月前の忘年会シーズンと比べると売上げが少ない。	
		都市型ホテル	人事異動その他で少しは良くなっていくと思われるが、今月はやや静かな感じがする。	
		タクシー運転手	年末と比較すると景気は下降しているが、3月、4月の歓送迎会に少し期待している。	
		タクシー運転手	全体的に客が減少している。特に会社関係の仕事が減少している。	
		タクシー運転手	大きな変化は無いが、前回やや増えていた夜の仕事が減少し、半年前と同レベルに戻ってしまった。また、異動の時期であるのに歓送迎会等の動きがほとんど感じられない。商店街も相変わらず活気が無く、一部閉店した店もある。	
		ゴルフ場	降雪の影響で、来場者数が暖冬で大幅に増加した昨冬と比べて大幅に減少している。	
		理・美容店	来店サイクルがさらに長くなっている。特にシニア世代のサイクルが長くなったように感じられる。	
		企業関連	製造業（食品）	原料高が長期に渡って続いており、製造コストに重大な影を落としている。
			製造業（印刷業）	年度末で官公需の見積り（入札）が数多く出ているが、かなりの低価格での落札となっており、物によっては適正価格の半分以下の場合もある。どこも意地で価格競争をしている状態であるが、お互いに首を絞め合うだけであり、利益率の悪化どころか倒産（廃業）する業者が出るのは目に見えている。健全な価格で競争できないものか。
			製造業（石材業）	茨城の石材業は主に東日本地区の石材製造だったが、製造が中国に流れてしまい、消費地にも直に中国から入ってしまうため、売上が減少している。また、最近は墓地不足が解消されてきているようであり、建立者も減少している。
			非製造業（倉庫業）	1月始めの頃の感触とは逆に悪くなってきている。
悪くなっている	雇用関連	公共職業安定所	全般的に回復基調にあるものの、円高、原油高、鉄鋼等原材料の値上げ、中国等への業務シフトなど、不確定要素が多い。	
		和食レストラン	忘年会の時期と比べると悪くなっている。	

## 2 景気の先行き判断理由

### (1) 県北地域

( - : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。 )

回答区分	分野	業種・職種	理由	
良くなっている	家計関連	ドライブイン	寒さが緩めば足取りも軽くなり遊びに出かけるようになると思われる。	
やや良くなっている	家計関連	食堂	最近地元でマンションが多数できてきている。	
		旅行代理店	少しではあるが見積り等の依頼が増加しているように感じられる。	
	企業関連	非製造業(建設業)	見積件数が増加する見込みのため、期待が持てる。	
		非製造業(建設業)	民間・地域において、少しずつ景気の状態を考えながら動き始めているようである。5～6月は公共工事の動きによっては景気は良くなるのではと思われる。	
	雇用関連	学校就業関係者	求人数が前年度より増加してきている。企業からの研修に関する問合せも増加してきている。	
変わらない	家計関連	商店街代表者	新年度に向けての消費行動がまだ見受けられない。	
		コンビニエンスストア	規制緩和や税制等、小売の活発化につながるような策が執られる様子もなく、現状の自然動向では景気の回復は見込まれない。	
		コンビニエンスストア	客単価の上昇が見込まれない。	
		小売業(酒類)	以前のように歓迎会等の祝い品、ギフト券等の利用がほとんど無い。また、飲食店の利用も少ない。	
		小売業(靴製品)	買物に対する姿勢が変わらないと思われる。	
		卸売業	夏物商品は単価が低く利益が減少するが、単価を上げる等して対応する予定である。	
		居酒屋	良くなってほしいが、客からも景気が良くなるとの声が聞かれず、この2、3か月という短期間では変化は無いと思われる。	
		スナック	良くなってほしいものの、客数が減少しており心配である。	
		居酒屋	客単価に変化は無いと思われる。	
		観光型ホテル	景気が上昇する要因が見当たらない。このような状況下で、経営者がどう対処していくかが企業の存続につながっていくものと思われる。	
		観光型ホテル	予約状況から判断して、変わらないと思われる。引合いは多くあるが、消費単価を低く抑える傾向が強くなると思われる。	
		タクシー運転手	客から先行きについて明るい話題、暗い話題のどちらも出てこない。	
		ゴルフ場	先行きに期待感を持っていないことがレジャーを楽しむ気分にならないことにつながっているようである。	
		ゲームセンター	客のゲームへの参加が減少しているが、これ以上余暇を控えることは無いと思われる。	
		理・美容店	時期的に4月頃は入学式等で収入増が見込まれるが、一過性のものであると思われる。	
		住宅販売会社	金利面や税制面で購入意欲を刺激するような政策が無い。	
		企業関連	水産業関係者	冷水の張出が強ければオキアミだけの漁獲となり魚価が低迷し景気は悪くなると思われるが、張出が少なければ小女子やシラスが出現し景気は上向くと思われる。
	製造業(食品)		販売単価を改善できない状況が続くと思われる。	
	製造業(一般機械器具)		特に仕事の上で景気の良くなる話が聞かれない。	
	製造業(電気機械器具)		受注高の増加は期待できず、良くても現状維持だと思われる。	
	製造業(電気機械器具)		ガソリンの高値や鉄鋼関係の値上がり等まだまだ大変な状況は続くと思われる。これ以上悪くならないでいれば良くなるのではないかとこの話もあるが、県北地域に関しては他地域と比べてははっきりと先が見えないように感じられる。	
	非製造業(金融業)		各種企業の業績内容が個人消費にフィードバックされるまでにはまだ相当の時間を要することが予想され、当分の間は現状のまま推移するものと思われる。	
	非製造業(情報処理サービス)		この地域を支える企業の業績が好転している話が聞かれない。	
	雇用関連	人材派遣業	先が見えないため短期で注文する客がほとんどである。	
		求人開拓員	一時期の上昇スピード(液晶テレビ・デジカメ・携帯電話業界)が若干弱まってきているため、まだまだ先行きは不透明である。	
		公共職業安定所	企業内調整による大きな変化は見受けられない。	
	やや悪くなっている	家計関連	スーパー	客の買物が平日から週末中心になってきている。平日はバーゲンハンターが多く客単価が低下しているし、週末は客数・単価は増加するものの米や酒等単価の高いものが売り出しとなるため利益にはつながらない。
			スーパー	将来への不安から購買意欲が削がれていると思われる。
		観光型ホテル	愛・地球博がまもなく開幕する。名古屋が元気だと言われているが、さらに弾みがつきそうである。しかしながらその反面、我々を含め他の観光地へどう影響するか心配である。2～3月の動きを見る限り悲観的になる。	
		タクシー運転手	工場閉鎖の影響が出ると思われる。	
タクシー運転手		営業回数が減少しており、夜の居酒屋の客も少なく、客から景気の悪い話は出て来なくなるとこの話が聞かれないため、先行きに期待が持てない。		
レジャー施設		問合せに関する電話が少ないように感じられる。		
レジャー施設		団体の予約が前年と比較して減少している。また、今年度は設備投資も行っていないため、明るい材料がほとんど無い。		
クリーニング店		取扱商品数の減少は今後も続くと思われる。		
企業関連		製造業(電気機械器具)	大口顧客の購買部門が他県へ移転したため、受注が激減している。	
		製造業(電気機械器具)	鋼材価格の上昇で入手にやや逼迫感が出ている。また、価格上昇分の製品価格への転嫁が難しく、経営に支障が出ると思われる。	
		製造業(輸送用機械器具)	カーメーカーからの値下要請及び原材料の高騰による収益悪化傾向が続くと思われる。	
雇用関連	求人広告	来期の予算を見る限り多少落ち込むことが予想される。		
雇用関連	求人広告	雇用が少なくなってきたり、失業者が減少しているとは思われない。		
悪くなっている	企業関連	製造業(電気機械器具)	業績見通しが悪い。	

## (2) 県央地域

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答区分	分野	業種・職種	理由	
良くなっている	企業関連	非製造業(建設業)	つくばエクスプレス関連や、水戸エクスセル・つくば西武・内原イオン等の開発に伴う付帯商業施設関連が動き出し、さらに景気は回復傾向にあるように思われる。	
やや良くなっている	家計関連	スーパー	不景気の底をようやく脱した感がある。	
		専門スーパー	異動シーズン及び農業シーズンに入ってくるため、客の商品購入も多く、1人当たりの購入単価も増加すると思われる。	
		観光名所	本格的な春の行楽シーズンを迎え、徐々に予約の電話も増えつつある。GWも大型連休となる模様であり、期待が持てる。後は天候次第である。	
		レジャー施設	観光シーズンを迎えるため、良くなると思われる。	
		理・美容店	景気が悪いなりに皆で協力してチラシ配りなど集客に努めているので少しずつ結果が出てくると思われる。	
		建築設計事務所	県外顧客の平成17年度予算を見ると、16年度よりも投資増となっている。ただし、県内企業の投資意欲は相変わらず鈍い。	
	企業関連	製造業(一般機械器具)	当社の主たる購入先の業界が中国市場に対応するために、国内・中国で活発な設備投資を計画、実施中である。また、現場設置型の大型製品の受注が相変わらず活発であり、このことから設備投資の動きが裏付けられると思われる。	
	雇用関連	人材派遣業	退職等で人手不足になる場合があるため、企業先等からの受注の増加が見込まれる。	
	変わらない	家計関連	商店街代表者	商店街全体を見ても良くなる兆候が無い。底の状況がまだまだ続くと思われる。
			百貨店, 総合スーパー	景気回復への期待感はあるが、明るい材料が見当たらない。
百貨店, 総合スーパー			景気の良し悪しというよりも、個性の感じられるもの、新しいものへのこだわりは一層強くなると思われる。	
専門スーパー			良くなる要因も悪くなる要因も見当たらず、県内または県央地域において活性化するような流れが見られない。	
家電販売店			シングル需要に期待は持てるものの、価格競争から客も店を回ることが多いため、必需品のみの購入が続くと思われる。	
自動車販売店			自動車税の納付時期がくるため財布のヒモが固くなると思われる。	
スーパー			客単価、買上点数とも前年を下回って推移すると思われる。	
都市型ホテル			3か月先の予約状況も例年に比べ悪く、あまり期待はできない。	
観光型ホテル			インターネットの利用等で旅行業者を通さない直接取り集客は増加しているが、総体的には構造的であると思われる。イベントや企画物で集客策を講じる予定である。	
タクシー運転手			異動の時期も終わり落ち着くだろうが、景気は変わらないと思われる。	
タクシー運転手			観梅の観光客も今年は少なかったが、これからもあらゆる面で消費が冷え込むと思われる。	
タクシー運転手			営業で飲食店を訪問しているが、「客足が伸びず商売にならない」との声が多く聞かれるため、タクシー業界でもすぐに良くなると思われない。	
ゴルフ場			ゴルフシーズンに入り客足の伸びが予想されるが、当クラブのプレー料金は他クラブと比較して高設定であるため、伸びない可能性もある。	
ゲームセンター			2月、3月と流通業の決算は減収減益が多いが、前年の消費税総額表示前の駆け込み需要の反動減という側面もあるため、4月以降は若干戻せるのではとの期待感もある。	
レジャー施設			年度末で契約解除も無く、新年度もこのままの利用者数を維持できると思われる。	
理・美容店			来店サイクルが一段と長くなっている。3~6か月に1回の来店が多い。	
企業関連			製造業(食品)	景気が回復せず、来店客数にあまり変化が見込まれない。
			製造業(出版・印刷業)	例年のことだが、団体等の総会が行われる6月までは現在の状況が続くと思われる。
			製造業(出版・印刷業)	景気が良くなる事由が見当たらない。もう個人企業の努力でどうこうできるレベルではないのではないだろうか。
			製造業(金属製品)	一部の顧客から発注が今後増えないとの通達があった。
			非製造業(輸送業)	荷主は物流に対し非常にきめ細かになっており、リストラが相変わらず続いている。
			非製造業(金融業)	取引先の過去6か月の売上高推移を見ても、あまり変化は期待できない。
			非製造業(広告代理業)	大型商業施設ができることにより求人件数が伸びると思われるが、パートやアルバイトが多い等、本質的な雇用問題の解決にはなり難い。
	非製造業(情報処理サービス)	顧客の来年度の予算編成から判断して、変わらないと思われる。		
雇用関連	求人開拓員	引き続き原油高が消費及び産業界に影響を及ぼすと思われる。		
	公共職業安定所	2月の有効求人倍率は0.94倍となり、対前年同月比で23か月連続で改善しており、雇用情勢にも明るさが窺えるが、倒産及び事業の縮小・廃止に伴う解雇や、希望退職の募集をしている企業がある。		
やや悪くなっている	家計関連	農産物直売所	観梅が始まっているのに客の動きが悪いため、先行きに期待が持てない。	
		ファミリーレストラン	社会保険料や所得税率のアップにより給与手取りの減少が見込まれる。また、国際情勢が正常化する兆しが見えない。	
		ドライブイン	愛知万博の開催に伴い、茨城方面への来客は減少すると思われる。	
悪くなっている	企業関連	製造業(食品)	公的サービス料金等の値上げや原油等の価格上昇によって、個人消費が落ち込むと思われる。	
		製造業(土石製品)	3か月先の受注が少ない。	
		非製造業(コンサルタント業)	昨年のオリンピックのような景気を刺激するイベントが少ない。	

## (3) 鹿行地域

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答区分	分野	業種・職種	理由
良くなっている	家計関連	観光名所職員	一年のうちで一番の書き入れ時である。
	企業関連	製造業(印刷業)	鹿行地区は企業の景況に左右されやすい。現在もそうだが、これから1年くらいは好況であると思われる。
やや良くなっている	家計関連	製造業(電気機械器具)	ボーナスが支給され景気回復に拍車がかかると思われる。
		商店街代表者	企業の収益改善によって雇用の促進されている。ハローワークの動きも以前とは異なっている。
		小売業(酒類)	気候も暖かくなり、またイベントも多くなるため、ビールや発泡酒の購入額の増加が見込まれる。また、当社のチラシも強化され販促活動が活発になるため、全体的に売上が増加すると思われる。
		スナック	中国の景気はオリンピックまでは安定することが予想されており、鉄鋼の需要も安定して見込まれるため、地元大企業関連はしばらく好景気が続くと思われる。
		洋食食堂	隣接する土地を購入し駐車スペースを倍にした。また、パート、アルバイトともに優秀なスタッフが増えており、客を大切に思う気持ちが培われてきている。
		クリーニング店	季節の変わり目で衣替えのため少し忙しくなると思われる。
		ドライブイン	あやめ祭り等本格的な観光シーズンとなり、メロン等高価な地場産品が多く販売できると思われる。
	企業関連	農業関係者	天災が無い限り順調に行くと思われる。
		製造業(食品)	春の行楽シーズンに入るため期待が持てる。
		非製造業(輸送業)	運送業者によれば、農産物に関しては4月以降仕事が当分入ってこないだろうとのことだが、販売については荷主の方で相当力を入れていくことが予想されるため、夏までは荷物が動くと思われる。
	雇用関連	民間職業紹介業	業種を問わず多少なりとも増加傾向となると思われる。ただし、求職者の中に企業の要望する人材がいることが少ないため、なかなかマッチングが難しい面もある。
	変わらない	家計関連	商店街代表者
スーパー			周辺地域の人口増加や所得の向上が見込まれない。
コンビニエンスストア			地元の大手企業はオリンピック景気に支えられているという話もあるため、3か月後も現状のままであると思われる。
スーパー			企業の雇用件数が伸びていないため所得は伸びないのではないかとと思われる。
家電販売店			買い控えの傾向は変わらないと思われる。また、中高年者は先々の年金のことを考え財布のヒモを締めると思われる。
自動車販売店			景気は変わらないと思われるが、4月以降は販売台数が落ち込むことが予想される。
書店			大手企業は過去最高益を計上しているが、下請及び一般企業まで下りてこないため当分の間景気の回復は期待できない。
観光型ホテル			予約状況が思わしくない。
タクシー運転手			客から景気の良い話が聞かれない。また、工事関係の客もタクシーを利用せずにレンタカーを利用して出費を抑えているようである。
ゴルフ場			予約の入りが悪くない。
室内装飾業			これといった物件が少なく、受注単価も安くたたかかれてしまうため、景気の回復は望めない。
サービス業			来年度の受注予想量は現状の延長線上にある。
住宅販売会社			金利の大きな動きが見込まれない。
企業関連			製造業(化学工業)
		製造業(窯業・土石製品)	当社への影響力が大きい鉄鋼業は順調に伸びているが、度重なる原材料等の値上がり分をどれだけ価格転嫁できるかによる。また、年度始めからの公共事業や新規事業等への出荷も見込みが薄く、好転材料が少ない。
		製造業(食品)	やや良くなりつつあるが、原材料の値上がり先行不透明であり、心配である。
		製造業(金属製品)	現在工場がフル稼働の状態であり、今後しばらくは良い状態が続くのではないかとと思われる。
		製造業(飼料製造)	仕事が無いわけではなく物量も動いているが、利益が取れない今の状態が続くと思われる。
		製造業(化学工業)	原料、製品とも品薄感はいしばらく続くと思われる。
		非製造業(住宅設備施工)	見積物件が少ない。
		非製造業(金融業)	実質収入がすぐに上昇するとは思われない。
		非製造業(不動産業)	急に仕事や客数が増加するような環境ではない。
雇用関連		人材派遣業	大きな景気の変動はないと思われる。鉄鋼関連については中国の特需が今後も見込まれており、輸出・国内ともに順調に動くと思われる。ただし、鉄鉱石・原料炭の値上げに伴うコストアップを如何に吸収するかにあるだろう。
	求人開拓員	町村合併が一段落しない限り、たいした動きは無いだろうとの話が聞かれる。	
やや悪くなっている	家計関連	小売業(金物店)	年度前半は公共工事が少なく、一般小売も期待できないため下降気味になると思われる。
		専門スーパー	政治への不安から20代の従業員まで将来に不安を抱いている。また、シニア層以外の財布のヒモが緩まる要素が見当たらない。
		観光型ホテル	予約状況及び予約見込状況から判断すると、やや悪くなると思われる。
		小売業(菓子販売店)	菓子が関係する行事(節句等)が縮小しており、菓子店の経営も厳しさを増すと思われる。
		割烹料理店	鹿嶋は観光地として多くの人に知られているが、客には不人気な部分もある。アントラースの人氣もやや落ちてきており、これから先景気が良くなるとは考え難い。
悪くなっている	家計関連	理・美容店	季節的に雨が多クジメジメしているため客の外出する機会が減少すると思われる。
		日本料理店	客の予約の動きがいまいち悪く、企業も引締めムードで動きが悪い。

## (4) 県南地域

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答区分	分野	業種・職種	理由	
良くなっている	家計関連	商店街代表者	職業柄最も売上が伸びる時期である。	
やや良くなっている	家計関連	農産物直売所	農産物を扱っているため、定期的にこれからは売上が増加すると思われる。また、前年より店の知名度が広がってきていると思われる。	
		小売業(各種食料品)	つくばエクスプレス関連の工事のため、客数が増加している。	
		都市型ホテル	つくばエクスプレス開通も間近となり、人の動きがますます多くなることが予想される。ただし、駐車場の少なさが問題であり、しばらく土日は満車になると思われる。	
		旅行代理店	3月に入り少しづつではあるが動いてきている。客は春休みやGWの計画を早めに立てているようである。	
		ゴルフ場	3月決算の結果次第であるが、少なくとも景気の底は脱しつつあると認識している。ただし、政治的に紛糾が無いことが条件ではある。	
		理・美容店	各店では大型店との差別化を図るため接客・技術等各分野で顧客のニーズに応えるべく講習会やワークショップ等を行う等、意識改革が少しずつ見受けられてきた。	
	企業関連	製造業(食品)	売上の増加が見込まれる。	
		製造業(食品)	暖かくなり外出する機会も増えるため多少景気も上向くのではないかとと思われる。	
		製造業(窯業・土石製品)	原油や鋼材の値上がり次第に浸透してくるだろうが、急には悪くならないと思われる。	
		製造業(コンクリート製造業)	公共工事の減少傾向は続くと思われるものの、市町村の合併特例債等による新規事業発注の増加が見込まれる。	
非製造業(建築設備業)		見積状況が良い。		
非製造業(輸送業)		例年5月以降は良くなる傾向にある。		
変わらない	雇用関連	求人広告	県南方面は求人件数が新規出店も含めて多い。	
	家計関連	スーパー	前年比をクリアするのが精一杯の状況が続いている。	
		スーパー	大企業の一時的な高水準になると思われるが、当社の客層とはあまり関係が無く、地域そのものの元気が回復する状況は望まれない。	
		コンビニエンスストア	客は欲しい商品だけを購入している。	
		家電販売店	猛暑になる等の報道でも無い限り、景気に大きな変動は無いと思われる。	
		ガソリンスタンド	高コストのため市場に出るにはまだ時間がかかるだろうが、ハイブリッド車や燃料電池車の開発が進んでいる。1リットル当たりの走行は約40kmになり、ガソリンの販売数量は伸びないことになると、石油業界は今後良くはならないと思われる。	
		洋食食堂	客が集まっている今をチャンスだと思い、顧客を一人でも多く獲得したい。	
		洋食食堂	大型店の進出や飲食店のオープンも少し落ち着いた。客もそれらの店を回って、最後は自分の価値観で選ぶと思われる。	
		和食食堂	全体的に不要な出費はしない傾向が見られる。客の流れも変わらないと思われる。	
		都市型ホテル	宴会、宿泊ともに何とか売上は前年の水準を維持できそうであるが、増加は見込まれない。	
		タクシー運転手	夜間の飲食店街が繁盛してこない限りタクシーの売上増加は見込めない。	
		タクシー運転手	サラリーマンの所得の増加が見込まれない。	
		タクシー運転手	金銭的に余裕がある人が少ないため、通常はバスを利用し病院など止むを得ないときだけタクシーを利用するという客が多いが、今後も仕事が忙しく給料がアップするという話が聞かれない。	
		ゴルフ場	料金の安い日に客が集中している。	
		ゲームセンター	消費の内容が変わってきていることは事実であるが、客単価の低下が今まで以上に感じられるため、それほど良くなる環境ではないと思われる。	
		レジャー施設	客足は増加すると思われるが、オフシーズンとオンシーズンを比べることはできない。	
		住宅販売会社	特に目立った減税政策も無く、消費者が動く要素があまり無い。	
		建築設計事務所	建築の見積り依頼が無い。	
		企業関連	農業関係者	現在の駆け込み工事も一段落し、仕事が無くなるのではとの話も聞かれる。特に明るさの期待できる話も無い。
	製造業(食品)		人口の急増は考えられず、商店の数が増加している分だけ1店舗当たりの売上は減少すると思われる。	
	非製造業(建設業)		民間の取引先数社の工場長から「かなり発注物件がある」と言われているが、これまでの経験上修正されるケースが多く、発注されてみない限りどうなるか分からない。	
	雇用関連	雇用相談員	好転要因、悪化要因どちらも見当たらず、当分は現状で推移するものと思われる。	
	やや悪くなっている	家計関連	スーパー	競合状況に変化が無い限り、当店を取り巻く状況は良くなりえないと思われる。近隣地区でもスーパーマーケット同士の競争が激しく客の選択する店がバラけている。
			スーパー	競合店が出店するという情報があり、オーバーストア気味になりつつある。
			衣料品・身の回り品販売店	夏の衣類は売れないため、5月～7月は売上が悪くなると思われる。
			農産物直売所	天候の影響(雪)により農作物の出来が良くないと思われ、品不足が生じる虞もあり明るい見通しが立たない。
			専門スーパー	使えるものは使うという感じであり、新規需要があまり見込まれない。
寿司店		年度末決算がそこそこの会社が多いようだが、昇給等が期待できず、サラリーマンの客や知人にも泣きが入っている者がいる。		
企業関連		製造業(食品)	出荷額の減少傾向が止まらないと思われる。	
	非製造業(建設業)	年度末を過ぎると仕事が少なくなる。		
	非製造業(不動産業)	都心回帰等による空洞化及び高齢化が懸念される。		
	非製造業(金融業)	全般的に公共工事の受注増は見込まれず、土木建築業者を中心に低迷すると思われる。		
雇用関連	人材派遣業	現時点で新規受注のペースが伸び悩んでおり、このまま人材難が続けば売上が減少すると思われる。		
悪くなっている	企業関連	製造業(金属製品)	製造業に関しては国内生産では採算が合わないと思われる。	

## (5) 県西地域

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答区分	分野	業種・職種	理由	
良くなって いる	企業関連	製造業(化学工業)	短納期での特急受注が増加しているが、在庫調整が終わって生産が盛り上がる ときの兆候のように思われる。	
やや良くな っている	家計関連	商店街代表者	気候も暖かくなり外出しやすくなってればそれなりの購買意欲が期待できる。 入学、就職等で出費も多くなってくると思われる。	
		家電販売店	単価下落等懸念材料はあるが、TV放送のデジタル化が県西地区でも予定されて いるため、液晶・プラズマTV、DVDレコーダー等の売上が好調に動いてくる ことが予想される。	
		農産物直売所	今の時期でこれだけの購買意欲があるということは、今後気温が上昇したときさ らなる購買意欲の向上が期待できる。	
		旅行代理店	行楽シーズンを迎え、また暖かくなることから、動きが活発になると思われる。	
		ドライブイン	GWが大型連休となる暦のため、例年に比べ売上げの増加が見込まれる。	
		ゴルフ場	天気予報により予約が増えたり減ったりしているが、4~5月の予約状況もよく、 シーズンでもあるため、来場者数の順調な増加が見込まれる。	
		企業関連	製造業(電気機械器具)	期末調整分の反動及び予算初期にあたるため、会社の動きは良くなると思われる。
	雇用関連	非製造業(不動産業)	広告やインターネットを通しての問合せ及び来店がいずれも増加傾向にある。	
	変わらない	家計関連	求人広告	つくばエクスプレス開通に向け近隣地区の人口が増加し、活発化すると思われる。
			商店街代表者	8月末につくばエクスプレスが開業するが、この街には関係する要素が見つからない。
洋食食堂			外出が増えても財布の中身はあまり変わらないため、全般的には消費は拡大しな いと思われる。ただし、一部の人は景気が良さそうでもある。	
寿司店			市内でイベントが実施されるときはたくさんの方が来るが、通常は商店街に人通 りは少なく、変化は期待できない。	
和食食堂			低価格傾向は今後も続くと思われるが、季節が変わり売上げが伸びる時期である ため、値下げではなく商品の価値をいかに出していかか努力しているところである。	
タクシー運転手			タクシー業界は、景気が良くなってもそれが反映するのが最も遅い業種である。	
タクシー運転手			例年4~7月までは仕事が減少する。	
ゲームセンター			ショッピングセンター内店舗でも、セールを前倒ししている状況であり、継続的 な消費に不安がある。	
理・美容店			どの町でも同じ傾向だと思われるが、近隣の町にも低料金の店が出店しており、 先行きが良くなる材料が見受けられない。	
クリーニング店			不況が続いているため客足もアウトサイダー店に流れるのではないかとと思われる。	
企業関連		農業関係者	販売代金が入金となるが、資材費価格の高騰により変わらないと思われる。	
		農業関係者	賃金のアップ率が変わらず、また各種公共料金の値上げ等が見られる。	
		製造業(食品)	価格競争が激しいため、原材料の値上げ分を製品価格に転嫁できないと思われる。	
		製造業(印刷業)	過剰な価格競争が改善されない限り良くはならない。業種によってはリーダーが 業界をうまくまとめ適正価格で受注しているようだが、リーダーがいない業界で は健全な継続は難しいと思われる。	
		製造業(金属製品)	注文も少なく、動きもあまり見られないと思われる。	
		製造業(一般機械器具)	仕事は増加しているが、売上げの増加は見込まれない。	
		雇用関連	人材派遣業	全体的に企業の求人が増加しないと思われる。
			公共職業安定所	多くの事業所が先行き不透明感から慎重になっているため、短期間での上昇等は 見込まれない。
			学校就業関係者	求人会社の生産予定に変化がないようである。
			求人開拓員	最近理・美容店でも価格破壊傾向にある。カットのみ1,000円など必要な物だけ を取り入れる消費者が多くなっている。
やや悪くな っている	家計関連	スーパー	1店舗当たりの売場面積は増加傾向にある反面、1坪当たりの人口は減少傾向に あるが、このオーバーストア状態がまだまだ続くと思われる。また、それに伴い 客の店を選ぶ幅が広がるため、1店舗当たりの収益が減少すると思われる。	
		スーパー	これから先増税等があるため客は買物を控えると思われる。特に食料品について はドラッグストアやホームセンター等ディスカウント店での販売も増えているた め、スーパーマーケットにとってはさらに厳しい環境となることが予想される。	
		自動車販売店	決算期の動きが鈍いため、回復する兆しが見えない。	
		都市型ホテル	株価も上昇し始めた感があるが、地方の景気は相変わらず元気が出ていないよう に思われる。	
		レジャー施設	6月は3連休も無く家庭や会社などの行事も少ない時期である。GWと夏期休暇 期間の間でもあり、また梅雨も重なり客の動きが悪くなる時期であるが、各企業 の賞与の動きにも左右されると思われる。	
		建築設計事務所	新たな継続的業務の発生が期待できない。	
		企業関連	製造業(食品)	原料コスト次第だが、一向に値下がりする気配が見えない。
	製造業(石材業)	売上が減少すると思われる。		
	製造業(印刷業)	年度末の繁忙期を過ぎ、仕事の確保が難しくなってくると思われる。また、業者 間の過当競争が止まらないと思われる。		
	非製造業(建設業)	仕事量が減少すると思われる。また、企業の設備投資も行われな いとされる。		
	非製造業(広告業)	一般の消費者の心理はまだまだ冷え込んでいると思われる。商店街に元気が見ら れず、合併効果も薄れてくるのではないかと。		
	悪くなって いる	家計関連	ガソリンスタンド	原油価格の高騰により、徐々に製品価格への転嫁が避けられなくなると思われる。 ガソリンスタンドにおいてはアップ分を満額上乘せすることは難しく、その分利 幅が少なくなるため、ますます状況は悪化すると思われる。
			企業関連	製造業(石材業)

### 3 その他の意見

#### (1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計関連	商店街代表者	3月末に私鉄道路線が廃止されるが、今後の景気にどのような影響が出てくるか気がかりである。
	スーパー	買物をしながら食事のメニューを決めるのではなく、チラシを見てメニューを決めてから来店する客が増加しており、無駄な買物をしなくなったように思われる。また、食品(ドライ)や冷凍食品等日持ちのする商品は特売の日に買いためられるのがほとんどである。
	コンビニエンスストア	高くても価値を感じるものであれば売れていることから、小売に関しては「金が無いから買わない」ではなく「欲しいものが無いから買わない」という理由で景気が低迷しているのだと思われる。客のニーズに合わせ価値のあるものを奨められれば売上は伸ばせるのではないか。
	スーパー	花粉症対策の商品は売行きが良いようである。
	ガソリンスタンド	競売が増加している。不動産も競売待ちのため、商売人が資金繰りに不動産を売りたいたくても売れない状態にある。競売の場合、パブル時の十分の一程度の価格になる。
	小売業(酒類)	地元企業の景気が偏っており、単身の長期出張者が目立つ。
	小売業(土産物)	新聞、テレビ、その他の情報を聞いても何も良い話が無い。
	小売業(靴製品)	親は自分のものばかりではなく子どものものにもより慎重になっている。
	卸売業	集客する店舗としない店舗がはっきり分かれてきた。集客する店舗はまだまだ伸びていくだろうし、集まらない店舗はいくら良い商品を置いても売れなくなってしまっている。
	レストラン	1月、2月と閉店する飲食店が多く見られたが、閉店する店も多少あった。また、大型のマンションが4、5できるため、人が中心部に戻り今後明るくなる可能性がある。
	居酒屋	企業の勝ち組、負け組がはっきりしてきているが、総体的にはしばらくの間景気の変動は無いと思われる。
	スナック	現職の人の姿が見えない。
	観光型ホテル	地方では景気の良い話が聞かれない。経営者は過去にとらわれず新たな視点で各自の価値観を高め、消費者の支持を得るよう努力しなければならない時代であると思われる。
	観光型ホテル	行きつけのレストランのオーナーの話によると、最近の売上状況は前年を下回り低調に推移しているようだ。
	旅行代理店	大企業関係の事業所で大幅な経費削減の情報があり、地元を中心に影響が大きいのではないかと心配である。
	タクシー運転手	合併の噂がある企業がある。
	タクシー運転手	身近な会社の合併吸収の話が多くなってきた。
	タクシー運転手	大手企業関連会社の縮小、千人以上の規模のレストラン、県北大手の同業他社の営業所の廃止等々、これからどのような事態が待っているのか不安であり、また楽しみでもある。
	タクシー運転手	夜の運転代行車の利用が増加しているため、タクシーの利用客が減少している。また、景気低迷が長期化しているため先行きが不安で生活に危機感を感じている。
	ドライブイン	失業者が減っているとの話が聞かれる。
	ゴルフ場	スポーツ界への異業種からの参入等々、世の中の仕組みが変わりつつあるように思われる。戸惑いも感じるが、良い方向に向かってくれることを期待したい。
	レジャー施設	家族連れで来ても、ワイワイ賑やかにではなく静かに遊ぶ家族が多いように感じられる。
	レジャー施設	周辺地域の飲食店、本屋、パチンコ店などがどんどん閉店している。
理・美容店	3月は皆少し仕事が忙しいようだが、4月になってみなければ本当の景気は分からない。	
理・美容店	近く百貨店が閉店するという暗い話が聞かれる。早く新店舗を開拓し誘客を図ってほしい。	
クリーニング店	最近特にマンションの分譲が目立つが、まだまだ需要があるのだろうか。	
企業関連	水産業関係者	金融機関の締め付けが厳しすぎる。特に加工業者等に対して厳しく、資金を系統機関からしか調達できないのが現状である。
	製造業(食品)	スーパーマーケットの再編が進みますます販売価格が下落することが懸念される。新商品を開発して販売単価を改善し利益率をアップすることが各企業に求められ始めている。
	製造業(電気機械器具)	最近小物を買うときはまず100円ショップに行くようにしている。
	製造業(電気機械器具)	鋼材メーカーの在庫調整の影響が、鋼材の入手に逼迫感がある。ここにきて原油価格も上昇しているため、鋼材価格がさらに上昇する可能性がある。
	製造業(電気機械器具)	飲食チェーン店が2店ほど出店するようだが、閉店したコンビニもある。
	製造業(電気機械器具)	試作案件等の動きはあるため、今後期待したい。
	非製造業(建設業)	工事を積算し受注するにも、このデフレ社会では受注が多くなると人件費等会社経費がかかり利益率が悪くなるため、会社の運営が難しい。
	非製造業(金融業)	市内の業績優良企業において、不採算部門の大幅なリストラが断行されるとの話がある。
	非製造業(不動産業)	スーパー事業者が用地を探しているという話を耳にすることが多い。
	非製造業(情報処理サービス)	来年度原子力関連2法人が統合するが、規模縮小のための統合であるため、地域に何らかの影響を及ぼすものと思われる。
雇用関連	学校就業関係者	企業からの求人はずえているが、パートや派遣が多く、景気の本格的な回復とはまだ言えないと思われる。
	求人開拓員	原料メーカーが国内より中国等に優先的に供給してしまうため、国内の中小印刷業界は原料不足・材料費アップなどで経営的に苦しくなりつつあるようだ。
	求人広告	求職者でありながら職を選んでるように思われる。

## (2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計関連	商店街代表者	「個人情報保護法案」施行に伴う需要があったが、逆に考えれば企業にとってはコストアップとなり、物価に反映されることになる。当店も新たにシュレッダーを購入した。
	商店街代表者	規制緩和、大店法の廃止、その他の理由により急激に大型商業施設が増加しており、中心市街地や商店街の崩壊が目前にきているように感じる。
	百貨店、総合スーパー	現在の生活のなかで「モノ」に対する不足感はあまり感じられないため、今後の消費動向はサービス等の「コト」のウェイトが高くなっていくのではないかとと思われる。また、買い替え需要が中心であり、爆発的なヒット商品が見られない。
	百貨店、総合スーパー	水戸駅前地区のリニューアルオープンの影響を受けている。また、入園・入学シーズン前で本来ならスーツや雑貨等の売上が活気付くはずであるが、今年は思うように伸びない。子どもへは相応の準備をするが、付添者である親自身は新しいスーツでという思いが鈍いように感じられる。
	スーパー	財布のヒモは相変わらず固いが、来店頻度が高まっている。
	スーパー	流通業に関して、景気の低迷とは裏腹に新店舗による売上アップを見込んで新規出店を凶っている企業が増加している。競争はますます厳しくなるが、消費者からすれば食に関しては若干豊かになるものと思われる。
	専門スーパー	新規購入（新しいものへの買い替え）が増加しているわけではないが、メンテナンスをするためのパーツや道具の購入、またそのノウハウを提供することが多くなってきている。
	家電販売店	省エネ商品について説明を求める客が徐々に増加している。
	自動車販売店	どの業種の客からも厳しい、大変だとの声が多く聞かれる。
	農産物直売所	納入業者に聞いても、どこも景気が良くないようである。
	スーパー	景気の良い人と悪い人の差が出てきている。
	割烹料理店	安価競争になっており、それに伴い質が低下しているように思われる。
	都市型ホテル	景気が良い企業と悪い企業との差が大きく、良くなったという企業の方が少ないため、まだまだ回復するには至っていないと思われる。
	観光型ホテル	採用を退職者の補充にとどめた。また、売店では納豆、干いも、餅が人気である。
	タクシー運転手	商店街、飲食店とも活気が無い。様々な催しを行ってはいるが、営利につながる成果が出ていないように思われる。タクシー業界も買収・閉鎖の話があり、これからますます厳しくなるように思われる。
	ゴルフ場	冬季の平日優待券制度が4月からなくなるため、予約件数が減少している。
	ゲームセンター	赤塚駅前再開発、勝田シネコン、内原イオンなど魅力的な商業施設が相次いでオープンし、水戸駅南開発も進んでいる。一般消費者にとっては遊びの選択肢が増え大喜びであるが、我が社にとってどの程度数字に影響が出てくるか不安である。
	理・美容店	商店街で売りに出ている店舗が多いように思われる。閉店するところも増加しているように感じられる。
	理・美容店	これから春になり暖かくなるので、客の出入を期待している。
	住宅販売会社	土地売買代金が下落している。
建築設計事務所	水戸メガモールが計画取り止めになったが、内原駅周辺の開発が順調なこともあり、市内の集客、投資等について危惧する声が増えるようになった。水戸市内、中心市街地等の活性化を本気で考えなければ、県都の賑わいが無くなってしまふのではと思われる。	
企業関連	製造業（食品）	一部商品の値上げで消費に多少の変化があるのではと思われる。少子化のため買上単価が低くなっており、また、隣近所のみまでお土産として購入する客が少なくなった。
	製造業（食品）	1人当たりの購入単価が低下し続けている。
	製造業（出版・印刷業）	自動車及びIT関連は好調のようだが、印刷業においては技術革新により新しい設備の導入を余儀なくされるところもあり、単価減が現実問題となっている今、資金的に頭をかかえてしまう状況にある。
	製造業（金属製品）	原油高、一次産品等の値上げで困っている。また、マスコミの報道の影響で自社株の有無や保管の問題が話題にのぼることが多くなった。
	製造業（一般機械器具）	機械関係は一時より忙しく動いている。ただし、半導体関連は若干の下り坂にある。
	製造業（一般機械器具）	4年越しで進めていた中国での委託生産と当社製品の特約店としての契約が締結し、4月から本格的な販売活動に入ることとなった。また、世界的な展示会に現地コンサルタント会社と手を組み2年連続で出展したところ、昨年対比で30%増の商談があり、今後の海外市場での販売ルート体制構想に役立てられそうである。これらから、継続することの大切さを改めて感じた。
	非製造業（建設業）	公共主体の建設業は非常に厳しい状況かと思われるが、当社のように民間主体の建設業は好況になっていくように思われる。
	非製造業（金融業）	建築関係業者は資材の値上がりがあり厳しい状況である。
	非製造業（広告代理業）	広告料金の未回収額が、この2か月くらい半分に減少している。クライアントの経営状況の回復も考えられるが、広告出稿できるところとできないところがはっきりしてきた。
	非製造業（コンサルタント業）	不動産関係は好調のようである。
	非製造業（情報処理サービス）	合併商談でギリギリ飛び込みの商談が発生しそうである。ただし、競争が厳しくなることは必至である。
	雇用関連	求人開拓員
求人広告		市内に新しい住宅（マンション）や商業施設が出来ており、人や金の流れが良くなることに期待している。
公共職業安定所		新規学卒者（高校）の求人倍率は2月末現在で1.18倍となり昨年同時期より悪化した。就職内定率は87.5%と昨年同時期より改善された。また、介護保険法による特別養護老人ホームや、介護施設、グループホームの進出で介護職や看護師等の求人が多い。
学校就業担当者		市内の商店街で閉店になっているところが増加しているようである。

## (3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見	
家計関連	小売業（金物店）	鉄鋼メーカーや関連業種、都市部の企業は鉄鋼の需要増で盛況のようであるが、我々ローカル店には波及してきていない。	
	商店街代表者	鉄鋼関係や北京オリンピック関連産業だけが景気が良いように思われる。	
	商店街代表者	企業の活況により、昼間の人口が増加している。この状態が持続すれば、景気はかなり改善されると思われる。	
	商店街代表者	当地域では他の地域に比べ有名チェーン店の進出が多く見られるため、何となく活気があるように見受けられる。	
	コンビニエンスストア	消費スタイルが一様でなく、若い人の消費は活発であるが、年齢が上昇するほど無駄遣いしないようである。	
	農産物直売所	数年前野菜の市場価格は頭打ちになり高値取引が無かったが、最近低値もあるが高値もつくようになり、経済状態が変動しているように思われる。今後は中国経済の影響等により動きが活発化するであろう。	
	自動車販売店	来期の仕事が確保できていない、予定もないという声が多く聞かれた。	
	専門スーパー	メロン農家に代表される畑作農家の景気が落ちている。収入の源にしていた畑を捨てる人が増加しており、大口の農家からは外国人労働者の力が無いと経営が困難だとの話が聞かれている。	
	書店	ロードサイドに3店舗専門店が開店した。隣町までの区間に衣料や飲食等あらゆる専門店が並んでいる。	
	スナック	サッカー熱が低下したように思われる。スタジアムのサポーター席（予約分）が不調だとの話が聞かれる。	
	小売業（菓子販売店）	郊外に大型スーパーが開業し、旧商店街では閉店するところが増加している。	
	タクシー運転手	悪い意味で落ち着いてしまっている気がする。	
	タクシー運転手	高齢者の車の利用が減少したように思われる。	
	洋食食堂	駐車場が狭く客に迷惑をかけていたため、駐車スペースを増やした。長い目で見て客数の増加が期待できる。	
	割烹料理店	景気が悪いためか商店の閉店時間が早く、夜の人通りがまったくくない。このまま行けば閉店になるところが増加すると思われる。	
	日本料理店	食事代をカードで支払う客が多くなってきたが、カード会社に6%の手数料を支払わなければならないため痛手である。	
	理・美容店	どの職業も大型化している反面、専門的なことに弱くなっていると思われる。単純に量販に走ると、職種同士の潰し合いになりかねない。	
	クリーニング店	年度末のためカーテン工場、土木道路工事関係の人等は忙しいようであり、毎日残業している。また、外国人を雇用している会社では、マナーの悪さや仕事が出来ないことを理由に滞在期限を待たずに本国に帰らせているところもあるようで、代わりに日本人の募集を出している。	
	サービス業	特に産業用機械の製造業の顧客からの注文が旺盛と感じられる。	
	住宅販売会社	住宅ローン控除の縮小で住宅購買意欲が低下している。	
	ドライブイン	高価な青果物や米などは、多少高くても良いものであれば客は購入する。	
	企業関連	製造業（印刷業）	国際大会ばかりがクローズアップされJリーグが注目されなくなったため、アントラース関係（サポーター）が不調だと聞く。
		製造業（化学工業）	ガソリン代が一時高騰していたが、最近はやや値段の低下が見られる。
製造業（金属製品）		通勤途中にいたるところで補修工事の現場を見かける。	
製造業（電気機械器具）		土日の大型電気店やディスカウントショップの駐車場はいつも満車状態である。また、夜に運転代行を頼んでもなかなか来てもらえず、全体的に飲食店が客が増えてきているようである。	
製造業（化学工業）		出荷調整や選別出荷の話をよく聞くようになった。	
非製造業（住宅設備施工業）		住宅関係も修理して使えるものは修理だけで済まし、新しくはしないようである。	
非製造業（輸送業）		メーカーは長期保管されている在庫（滞留品）の整理を行っている。また、売れない商品や人気の無い商品は生産をストップしている。品質や安全性が非常に問われてきているため、保管技術や利便性の向上、情報の高速化を図っている。	
非製造業（金融業）		競売物件で利回りの良好なものについては積極的な購入が多い。	
非製造業（保険業）		老人ホームやグループホームなど、介護施設の建設が目立つ。	
非製造業（不動産業）		土地に関して大口の業務用地の注文が少なくなった。住宅については、ユーザーの好む土地の売物が少なくなってきた。	
雇用関連	人材派遣業	コンビナート地区においては特に変化は見られないが、中小企業では年末の賞与が大幅にダウンするところもあるようで、まだまだ不安が拭えない状況にある。	
	民間職業紹介業	求職者に業務や業種の選り好みが見られ、また実際に雇用に至ってもミスマッチングが生じることもあり、安定した雇用が思うようにいかないことが多い。	
	公共職業安定所	当地域の主要な製造業である鉄鋼・化学は引き続き好調である。	
	学校就業関係者	就職率が上昇した。	
	求人開拓員	材料費の一層の値上がりを心配している事業所が多い。	

## (4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計関連	商店街代表者	地元はつくばエクスプレスに大きな期待を寄せている。
	スーパー	高齢者の万引きが多いが、景気の影響のように思われる。
	スーパー	安いものしか買わない特売ハンターが増加している。高齢者の不正等も増加している。また、袋をいく種類も持っている客が見られることから、安い物を求めて買い回りをしているようである。
	スーパー	電車通勤をしていて帰りが遅いのだが、毎日必ずと言っていいほどディズニーリゾートの袋を提げた女性や家族連れの姿を見かける。日替り商品に群がる姿とのギャップが大きく、収入や生活水準の格差が拡大している様を痛感する。
	コンビニエンスストア	昨年と比べて消費意欲が落ちているように感じられる。
	家電販売店	家電4品目と言われるリサイクル品の受付がかなり増加している。
	農産物直売所	花及び植木(切花、鉢物)の売行きが悪い。一時期のガーデニングブームが終わったのかもしれない。
	農産物直売所	必要なもの以外は購入しない客が増えた。これからは消費よりも貯蓄に回すという考え方になっていくと思われる。
	専門スーパー	今年は花粉の量が多いと言われているため品揃え、スペースを増やしたが、売上は例年と変わらない。
	ガソリンスタンド	8月につくばエクスプレスが開通となるが、このことにつくば地区または県南地区が空洞化してしまうのではないかとと思われる。特につくば駅周辺はかなりのショッピング街が建設されているが、長期的に考えると厳しいのではとの話が聞かれる。
	洋食食堂	近所に専門的な靴屋があるが、しっかりと顧客をつかみ健闘している。店構えは小さいが靴の修理から製造までできる。靴屋に限らず、このように専門的な知識を持った店がどんどん増えてほしい。
	洋食食堂	法事等でもフランス料理を選んでくれるようになった。また、ランチで客が入っているように感じられていた個人経営の洋食店が2店閉店した。
	和食食堂	他店の動向を見ても、自店と同じような集客となっている。飲食関連の間屋に聞いても2月は特に商品の動きが悪いとのことである。
	都市型ホテル	エリア内の百貨店がリニューアルオープンしたが、予想よりかなり少ない集客だったようである。やはり今はリニューアルだけでは難しく、新規参入の店舗には太刀打ちできないのではと思われる。
	旅行代理店	愛知万博の開催によって、さらに拡大することを期待している。
	タクシー運転手	夜間の代行運転の増加が目立つ。
	タクシー運転手	駅へのマイカーによる送迎が多い(19時~20時頃)。
	タクシー運転手	駅周辺の飲食店等の閉店が目立つ。
	タクシー運転手	3月に文化会館でコンサートがありタクシーを利用してもらったため売上増となった。このような催し物が定期的であれば大変助かる。
	ゴルフ場	コンベが増加しているため、人が集まり活性化されている。
	ゲームセンター	ショッピングセンター等のテナントの入れ替わりが多い。客数に大きな変化はないが、買上率や客単価の低下が見受けられる。
	レジャー施設	郊外に大型店舗が増え、商店街に人が集まらなくなっている。また、利益が上がってきている店と上がってきていない店の差が拡大している。
	理・美容店	自分の回りの住宅街も35年以上となるが、定年になった人が多く7割を占める。若い人は車で出かけてしまうため、年配者に来店してもらうことを考えながら仕事をしている。
理・美容店	中心市街地活性化バスが国土交通省の補助事業として始まったが、高齢者も外出しやすくなるため美意識の向上につながるのではと期待している。各店で乗車券を配布する等、活気のある街を取り戻すため皆の心が一つになっている。	
企業関連	農業関係者	圏央道の買収地域などでは、明るい材料もあるようである。
	製造業(食品)	主力取引先の売上増や新規取引にも期待が持てる。
	製造業(食品)	住宅関係の売上は好調のようで、つくばエクスプレス開通による人口増が見込まれる。あちこちで工事が行われており他地区から見ると景気が良いように見えるかもしれないが、地元一般住民にはあまり景気の良さは感じられない。
	製造業(食品)	小売関係者からは顧客の購入単価が低下しつつあるとの声が聞かれる。
	製造業(食品)	景気が良くないという話をよく聞かすが、実際の数字は前年と変わらないと思われる。
	製造業(食品)	市場が今まで以上に敏感になっている。
	製造業(一般印刷業)	つくばエクスプレスの開通により地元は活性化するだろうか。
	製造業(窯業・土石製品)	土浦・つくば地区においては、つくばエクスプレスの開通に向けて各所で開発が見られスーパー等の出店が相次いでおり、集客効果がますます拡大すると思われる。
	製造業(一般機械器具)	今後予定されている新製品等の立ち上げに期待したい。
	製造業(金属製品)	自動車部品の国内製造ラインが海外へシフトする時代を迎え、縮小・廃業の時代となった。会社の借金等のため、泣く泣く必死に稼働している状態である。
	非製造業(建設業)	某不動産会社の社長の話では土地が少ずつ上ってきているようである。また、スーパーの酒類担当所長からは、焼酎が売れてきており仕入が伸びているとの話が聞かれる。
	非製造業(建設業)	つくばエクスプレスに目が向けられており、知人にも出店した人や出店を計画している人がいる。
	非製造業(建設業)	近所では以前は旅行に行く人が大勢いたが、最近ではまったくいない。
	非製造業(不動産業)	つくばエクスプレスの影響が出始めており、旧市街より客の目がそちらを向いている。
	非製造業(金融業)	地元小売店はもとより、デパート、量販店の売上が伸び悩んでいる。ビールの値上がりで酒類小売業が苦戦しているようだ。
	雇用関連	人材派遣業
求人広告		3月に入ってから急に求人が増加した。
学校就業関係者		最近大型のショッピングモールがオープンし、今までに無い賑わいを見せている。

## (5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計関連	商店街代表者	中心市街地の空き店舗が更地になった。
	商店街代表者	当地域には大きな工業団地があるが、その中の大手の企業等で業績が前半よりもかなり改善されてきたようであり、多少期待できると思われる。
	スーパー	他県からのスーパーマーケットの進出が加速している。全国優良スーパーといわれる企業の進出もあり、今後小売業界、特にスーパーマーケット業界は厳しさが増すとされる。
	スーパー	政府の増税策に対して不満を持っている客が多い。民間と同様に無駄な部分を素早く排除していかなければ、国民の信頼は得られない。
	ガソリンスタンド	地元老舗の菓子店が1月末に閉店した。また、国道沿いへの大手チェーン店の進出が活発であるが、これからも続いていきそうである。
	洋食食堂	高齢者と若者の金の使い方がまったく異なってきている。若者は携帯電話など目に見えないものに金を使い、高齢者は心の安らぎやゆっくりとした時間を得るために金を使っている。
	和食食堂	健康食品などに女性は特に興味を持っている。また、喫煙席の要求もこのところ非常に多くなってきた。
	都市型ホテル	市町村合併関連の動きに期待している。
	旅行代理店	企業からの旅行等の問合せがこのところ多少増加しているように思われる。実行されるかどうかはともかく、良い傾向ではあると思われる。
	タクシー運転手	タクシー運賃の多様化が進み、会社の収入を減らさないための増車が進むと思われる。我々運転手にとっては大変な問題であり、ますます生活が苦しくなると思われる。
	タクシー運転手	乗車回数・距離、客の言葉、街中の活気等どれをとっても特に変化は無く、低迷がダラダラと続いており、企業も店もそのほとんどが苦労しているようである。
	ドライブイン	特徴のある商品や魅力的な商品は多少単価が高くても売れている。変化していくことが大切であると感じる。
	ドライブイン	早く景気の良い社会になってほしい。
	理・美容店	地元の小学校の新入生が開校以来初めて2クラスを割り1クラスとなった。人口減に強い不安を感じる。
	建築設計事務所	企業の設備投資が少しずつ出てきているが、個人の建設意欲が感じられない。市内の同業者で倒産・廃業したところもあり、先行きが不安である。
	企業関連	製造業（食品）
製造業（食品）		会社において内部経費削減を命じられている。消耗資材や紙・文房具でも無駄にしない取組みを展開中である。
製造業（食品）		昨年の台風等異常気象による影響で国内産大豆等農産物の減収により原料価格が高騰しているが、この状態が今年中は続くと思われる。また、原油の値上がりによる影響も今後続くと思われる。
製造業（印刷業）		倒産や廃業が多く、競売された店等が風俗営業等に様変わりしているところが目立つようになってきている。治安や青少年の健全育成を考えると、このままで良いのかと心が痛む。県も「安心・安全」の確保のため警察官を増員するようだが、根っこのところを考えなければ明るい将来は無い。
製造業（石材業）		地元の雑祭りに石材組合でも石の雛を展示した。8万～10万人の来客があり商店街は潤ったが、石材の販売までには至らなかった。
製造業（石材業）		今まではスナック等夜の商売では金曜日と土曜日に客が入っていたようだが、最近では「土曜日でも暇だ」「何曜日が忙しいとか暇だとか言えない」との声が聞かれる。
製造業（電気機械器具）		期待していた次世代ゲーム機の伸びが今ひとつ感じられず、業界が活性化していない。
製造業（印刷業）		つくばエクスプレスの開通を間近に控え、期待感が高まっている。
非製造業（建設業）		自動車関連と貸倉庫・流通業が活発なようである。また、一般の小売店は完全にシャッター通り化してしまっている。新大通りの一部にはファミリーレストランが軒を連ねている。
非製造業（金融業）		市町村合併とつくばエクスプレスの開業への期待感が感じられる。
非製造業（不動産業）		賃貸について、法人契約から個人契約に変更するケースが見られる。
非製造業（広告業）		平日のゴルフ場では高齢者の利用が目立っている。また、携帯電話やインターネットの利用料金など、毎月の経費が段々多くなって家計を圧迫している。
雇用関連		求人広告
	公共職業安定所	各事業所ともコスト削減に躍起になっており、今後ますますこの傾向が強まると思われる。また、パート、派遣、請負等への切り替えもさらに進むと思われる。
	求人開拓員	中国からの農産物や衣料品が大量に出回っているため、業者は対応を考えているようである。